

講師ハンドブック

第8期

April-March

(株)Dream Today

『感動の追求』

我が社は夢教育を通して、顧客と従業員の感動を追求し、
全スタッフの物心両面の幸福の追求と社会に夢を叶える人を増やすことを目的とします。

1 我々の志事は、夢教育を通して子ども達の夢を護ります。

我々は子ども達が夢を叶えるために必要な力を身につける夢教育を行っています。子ども達に夢を持たせることが最大の目標ではありません。夢を持ちその夢に向かって必要な力を示し、子ども達を導いていきます。日本中の子ども達に夢の素晴らしさを伝え、夢を叶える子どもを増やしていく。それが我々の使命です。

2 我々の志事は、顧客と従業員の感動を追求する事です。

我々は、いつも目の前の人に『感動』を与えます。感動を与えるためには、相手以上に相手のことを考え、誠心誠意、一生懸命準備をして、相手が思っている以上のことを、感謝の気持ちを持って自分の喜びとして行うことです。

(対顧客)

子ども達の可能性を信じ続け、人生の恩師になることです。恩師とは卒業後も会いたくなる先生。結婚式に招待したくなる先生。自分の子どもまで預けたい先生です。そんな子ども達の恩師になれるよう、我々は目の前の子ども達の可能性を誰よりも信じ続け、子ども達の個性を伸ばすことを真剣に本気で考えて、いつも子ども達を接します。

(対従業員)

従業員がこの塾で働くことを通して『感動』を追求することができるようにしていきます。この会社で働いて本当に良かった。この会社で人生が変わった。そのような感動を生んでいけるような企業を作っていきます。

3 我々の志事は、三方良しの経営をすることです。

我々は、顧客・社員（会社）・社会の三方全てが利益を得られる、トリプルウィン経営を目指しています。これは近江商人の言う、『売り手良し、買い手良し、世間良し』の三方良しの考え方に基づいています。私たちはこれらの三方のうち、一方でも不利益を被るような事業や計画は一切推進しません。社会に夢を叶える人を増やしていきます。

『日本・世界の社会問題を解決できる 人材の育成と輩出』

我々は、日本のそして世界の社会問題を解決できる人材の育成と輩出を通して、
日本そして社会の社会問題を解決する企業です。

そのために、まずは我々メンバー自身が社会問題に関心を持ち、
課題を発見し解決できるような人財の集団になります。

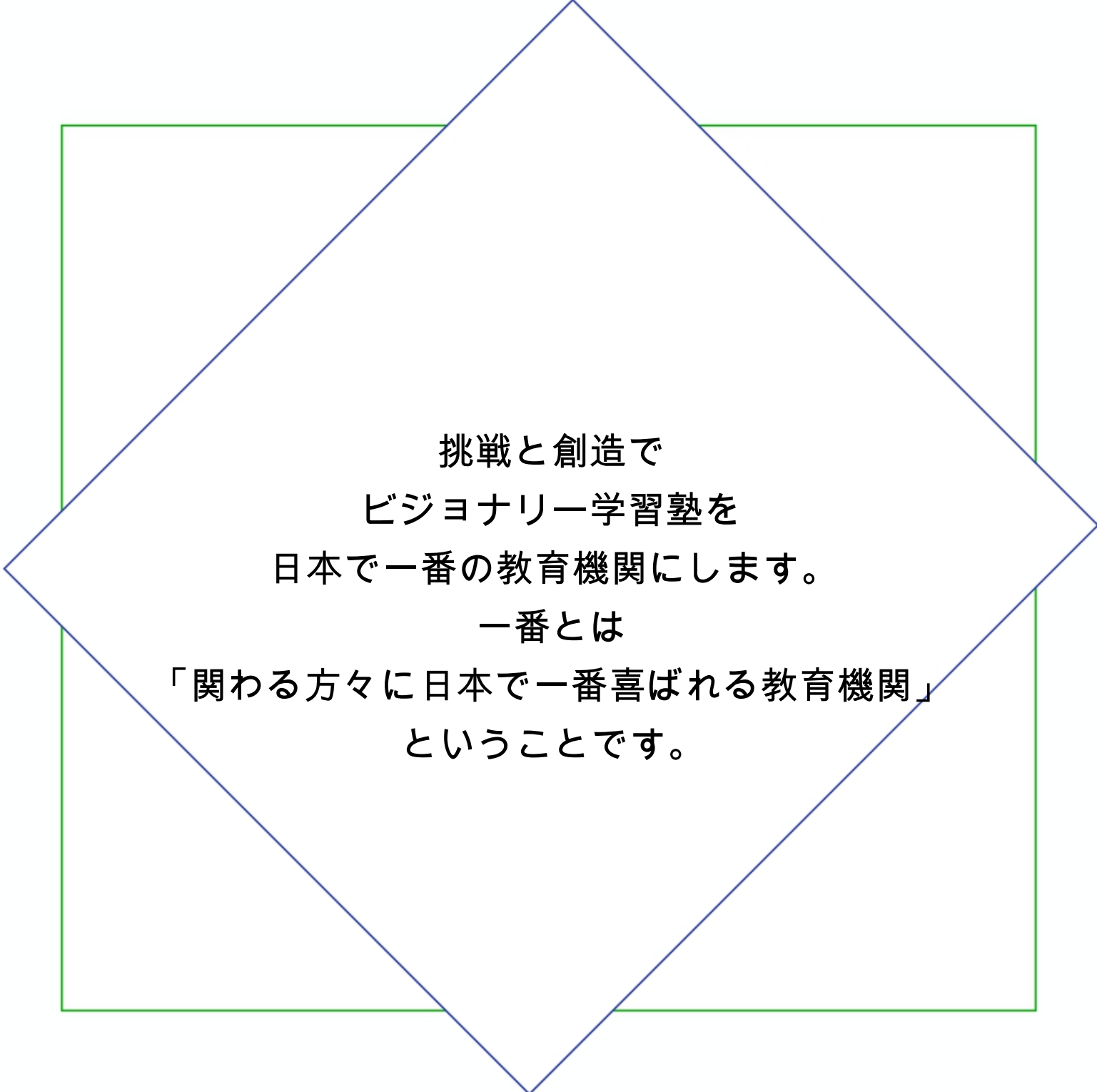
また、教育企業として教育サービスを提供する子供から大人の方達まで、
幅広い人たちに社会問題を解決できるような教育を考え広めていきます

また、我々は社会問題を考える上で、SDGsをベースに会社のあり方を議論し、
社会問題を解決できる人財を育てる企業・教育機関です。



『日本の教育を変える』

私たちは、10年後・15年後、子供たちが世の中に出る未来を想像し
そこで子ども達がどうすれば幸せになるかを真剣に考え
常に子供達の未来に必要な教育を提供します。
そして、その教育を日本全国へ広げます。
既存の教育を全否定するわけではなく、今ある教育の素晴らしい部分を活用し、
そしてより良い教育を目指して、
子ども達の為にそして将来の日本の発展のために貢献するために
日本の教育を変えます。



挑戦と創造で
ビジョナリー学習塾を
日本で一番の教育機関にします。
一番とは
「関わる方々に日本で一番喜ばれる教育機関」
ということです。

①世界最高峰の感動を届けるサービスを追求します

我々は日本の教育を変える集団です。日本の教育を変えることができる高品質な教育を追求していくために常に自分自身の仕事での行動は世界最高峰かどうか。自分自身に問い続けて仕事をし続けていきます。手を抜くことなく全力で仕事と向き合っていきます。

②子ども達の夢が叶う教育を追求します

我々の教育法は「夢教育」です。全ての子ども達が夢を持ち、夢を実現できる社会を創るために教育を行なっています。我々は子ども達が大人になった時に夢が叶うために必要な力を追求していきます。常に子ども達がどうしたら夢や目標を叶えられるか。どうしたら自立できるか。そういった長期的な目線に立った指導をしていきます。

③社員の物心両面の幸せを追求します

社員が物心両面の幸せを感じていないとお客様に幸せを届けることはできません。常に幸せを感じられる社員の仕組みを作りお客様を幸せにします。社員の夢と我々の目指している方向が一致している人のみを採用し社員の夢を叶える自己実現の舞台が提供できるようにします。また、様々なライフプランを用意して様々な働き方ができる仕組みを整えていきます。

④アルバイト講師が成長でき、 働いて良かったと思える環境を追求します

アルバイト講師がこの場所を通して働いて本当に良かったと思える環境を作ります。アルバイト講師が働いて楽しいと思ってもらえるように環境整備をしていきます。また、やりがいを感じられるように昇給制を儲けきちんと能力によって評価できる環境を作ります。

⑤塾業界を憧れの業界に変えるモデル経営を追求します

学習塾業界を憧れの業界に変えるべく、我々がモデル経営を追求していきます。一つのモデルを作り、世界中に発信し、『学習塾で働きたい』と思う人を増やしていきます。様々な教育機関や学習塾が見学に来るようなモデル経営を追求していきます。

⑥日本の教育を変えるリーディングカンパニーを実現します

我々の教育を日本の教育のスタンダードに変えていきます。我々が創る『夢教育』を多くの教育機関に導入し教育業界を引っ張っていきます。そのために我々は塾業界のトップ1%の存在になっていきます。塾業界を変えて学校創設、教育再生実行会議への参画などを通して公教育を変えていける教育機関に成長していきます。

①【感動追求】生徒の成績を高めるために何ができるかを常に考え、 生徒に予想外価値を提供して、感動を追求する

塾としての役割である **成績を上げること・志望校合格に導くこと** は我々に取って **当たり前** です。当たりの前の価値の基準を高めていき、子ども達の成績をまずは上げていきましょう。そして、**生徒や保護者様に『ここまでしてくれるんですね』** と思ってもらえるようさまざまな価値を与えていきましょう！**感動とは驚きと喜び**です。手厚く **予想外の価値を提供してお客様を感動させるサービス** を提供していくことを意識して、**生徒の恩師 (結婚式に呼びたくなる先生)** となりましょう。

②【情熱】生徒に情熱を注ぎ、絶対に目標達成に導くという信念を持って行動している

生徒に **自分自身の思い** をきちんと伝えてこうなっていこうという **ビジョン** を見せることが大事です。生徒にどうなりたいか聞くのは非常に大事ですが、我々の情熱で **生徒をここに引っ張っていくという姿勢がある先生** は信頼感が増していきます。また、そのためには生徒が成績を上げるために **何をすべきかという答え** を知っていて、そこに **効果的に導くという姿勢** が重要になります。それをきちんと実行していけば、その情熱はたくさんの人に **伝播** していきます。自分の生徒に対する情熱を、**他の先生** にも伝播していけるよう行動していくと、自分だけでなくチームで生徒に情熱を注ぐことができます。

③【感謝】4つの感謝 (生徒・保護者・講師・環境) に感謝して行動している

生徒がいるから 我々は授業をすることができます。**保護者様** が大事なお子様に投資して塾にお金を払ってくれるからお給料をもらうことができます。他の講師の先生がいるから **生徒の様々なニーズ** に対応することができます。この校舎や **働く環境** があるから働くことができます。様々なことに感謝をして行動をしていきましょう。感謝の気持ちは見えないパワーですが大きなパワーとなります。感謝を **具体的な行動** で完結していきましょう。感謝の力を育て、豊かな人になり、子供たちを幸せにいきましょう。

④【規律】講師ハンドブックに載っているルールを基にした行動ができている

自由とは **ルールがあるからこそ自由を得ることができます**。ルールがない場所では人間は自由を得ることは困難です。塾で働く人が全て **良い気持ちになれるよう** 規律を徹底していきましょう。社会人になると少しの遅刻でもアウトです。最低限の当たりの前の行動ができない人は社会で活躍することはできません。きちんと講師ハンドブックをよく読み、**規律** を徹底した人になって社会で活躍できる人財になっていきましょう。

⑤【成長】働く目的が明確で自分自身の成長をするために環境を活用している

なぜ、**ビジョナリー学習塾**で働いているか。子ども達にどうなってもらいたくて働いているのか。この **目的意識** を常に持ち続けていきましょう。そして、**自分自身がどのように成長していきたいか** というビジョンを持って働いていきましょう。この目的が **明確であればあるほど働く意義も明確になります**。そして、塾で行う勉強会・研修等に積極的に参加していきましょう。その情報や知識があなたの人生を支える基盤になるかもしれません。

⑥【共創】講師同士のコミュニケーションを大事にして 協力して生徒の目標を目指している

講師・社員との **コミュニケーション** を大事にしていきましょう。生徒を一人で良い方向に導くのは簡単ではありません。社員の先生にきちんと方針を確認したり、わからないことがあったら **聞くこと** を意識していきましょう。先生方と **連携** をとって、**この子を良くしていきましょう** という声掛けが飛び交うコミュニケーションを是非意識していきましょう。そして、その連携により自分の授業の改善や生徒への接し方を具体的に変わっていき、生徒の目標達成に導いていきましょう。

教育理念

天才である子どもの無限の可能性を信じ、
天才である子どもの能力を引き出し、夢を叶える子どもを輩出する！

我々は人の可能性を信じています。『ダメな子なんていない』『全ての人に可能性がある』
『全ての人が夢を叶えることができる』その信条で教育を行っています。自分自身の可能性を信じられる自信と夢と自己愛を育み、自立型人材を育てていくことを目的に教育を行っています。

夢教育とは？

大人になってから夢を叶えるために必要な力を身につける教育が夢教育です。
その力をそれぞれの発達段階に合わせた教育で身につけていくサポートをしていくのが我々の方針です。

教育目標

『自立型人財の育成』

自ら考え、自ら判断・行動できる人財を作ります。
いかに子ども達が自立できるか。自立型の勉強が最も効率的な勉強であるということを信条に持っています。

身につける3つの力

学力

学ぶことが好きになる。
第一志望校合格を実現し、
夢を叶えるために必要な
勉強習慣と方法を身につける。

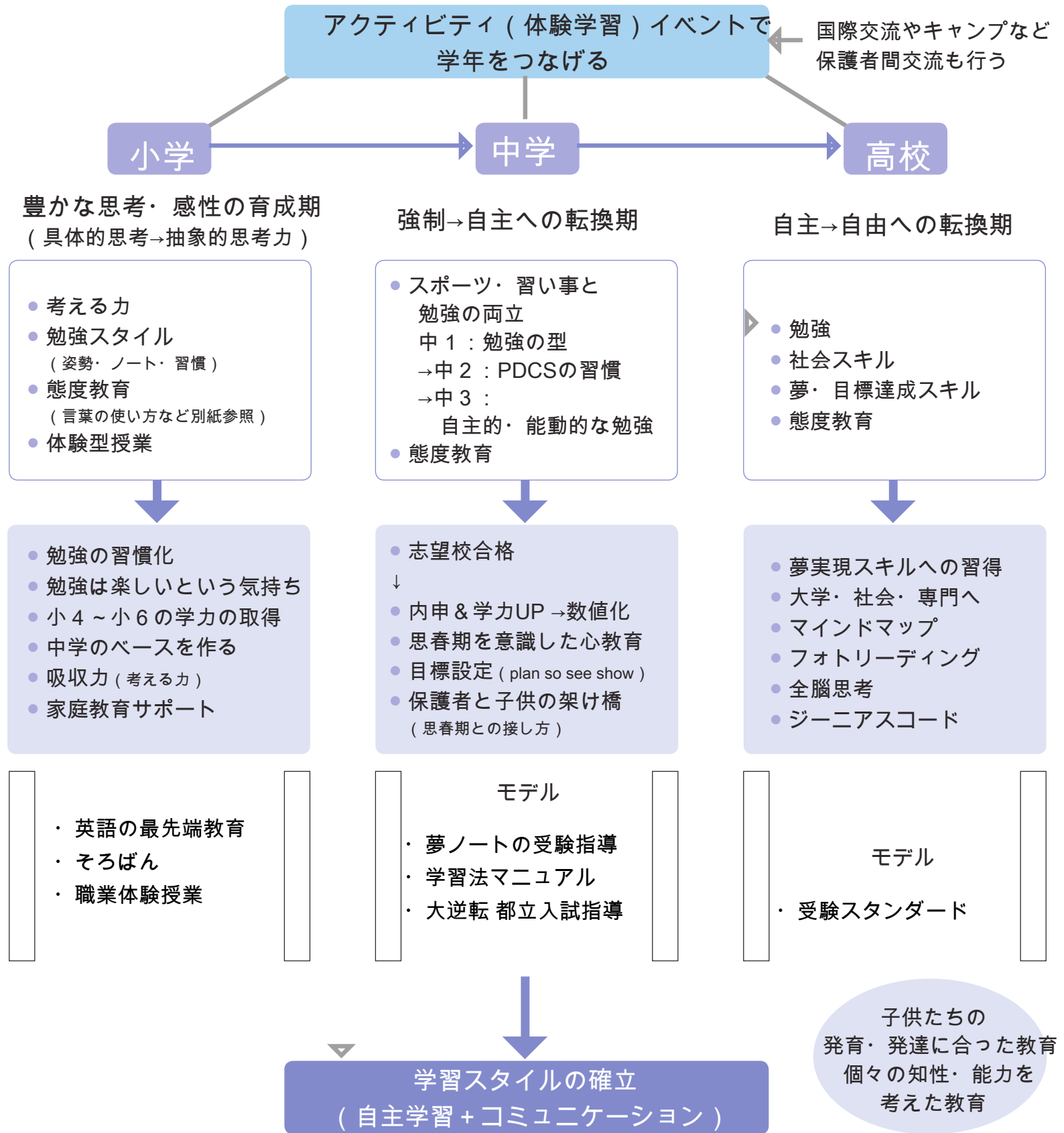
人間力

自信×夢×自己愛を育む。
夢を叶えるために必要な力を
独自のメンタルトレーニング
手法で鍛えていく。

目標達成力

目標達成するためのプランニング力
PDCAを回す力、達成習慣の形成等
受験を通して必要な力を
身につけていきます。

授業をして成績を上げることが目的ではない。
我々の授業はこの3つの力を身につけることが目的である。
特にその中でも『自信』と『学ぶ楽しさ』を一回の授業を通して伝えていきます。



生徒達の“自己重要感”を高める！ & 幸せな人生を送れるようなスキルと感性を

地域

講師成長の場

- コミュニケーション力 ①情報伝達力 ②火つけ力 ③コーチング ④ホスピタリティ
- マネジメント力 ①生徒管理 ②リーダーシップ> + “心”

保護者会・学習会

- セミナー
- ホームページ
- 情報発信→コミュニティ

地域教育

- 地域スポーツチームと提携
- 部活、学校との連携
- 地域貢献の工夫

1. 日本の教育を改革し次のビジョンへ

文科省に対し新たな成績表の導入と受験制度の導入を働きかけ、それを実現させて公教育を変え夢を叶える子どもや日本を変える子どもが育つ、我々は次のビジョンへ向けて動き出す。

2. 日本一の教育プラットフォームの構築し完成させる

日本中をつなぐ教育プラットフォームを構築し、世界中の叡智が集まり、そのプラットフォームから新たな教育が生命体のように生み出され続ける。

3. 日本一の教育集団となる

社員数が10万人を超え、教育のプロフェッショナル・トップクラスの経営陣、世界最高のエンジニアAI集団からなる最高の教育集団となる。

4. 世界各国から教育コンサルを受託する

他の国から国家プロジェクトとしての教育改革の支援が依頼され、国単位の教育変革をサポートする教育機関となる。

5. 教育研究大学を設立する

教育を探究して理想の夢教育を追い続ける教育研究大学を設立する。
大学生は夢教育を探究してその教育手法をデータで分析して研究していきます。

1. 直営の学習塾9店舗を実現する

2032年までに9店舗経営を実現する学習塾にする。生徒数は1,000名を超えるようになる。

2. 学校法人の設立

2032年までに学校法人を設立し、新しい画稿（幼稚園～大学）を設立し、全国の公立校・私立校の新しい教育モデル校となる。

3. 5つ事業の利益を最大化する

2030年には売上5.5億円。2050年に5000億円企業となる。

4. 自社教育メソッド『夢教育』を完成

2025年に自社教育メソッド『夢教育』を完成させる。その夢教育メソッドができる教育者の輩出を目指し普及させる。それまでの期間、学習塾で徹底的に子ども達と向き合い続け理想の教育を追い求め続ける。

5. 教育者教育事業「Dream Teacher」開始

我々の自社教育メソッドを伝えることができるDream Teacherを育成します。
日本中の教育者が夢教育のメソッドを体系的に学び実践できるプラットフォームを作る。
目標は2050年に10000名の会員を実現する。

6. 研修・コンサルティング事業開始

2025年から学習塾業界での研修サービスやコンサルティングサービスを開始。
我々の教育メソッドをたくさんの人々に伝えていき、多くの学習塾の自己実現のサポートをする。

7. 家庭教師事業開始

2027年から家庭教師事業を開始。家庭教師を通して全国各地に先生を派遣し多くの子ども達をサポートできるようになる。

8. アントレプレナーシップ教育を広める

2029年までにアントレプレナーシップ教育を確立し、
子供から大人までの新しい科目として、アントレプレナーシップ教育を浸透させる。

9. 保育園の開園と運営→企業内学童の運営

2029年幼稚園・保育園を設置し、女性社員メンバーが働きやすい環境を整える。
幼児から大学までのトータル教育を完成させる。

10. 海外の学校との姉妹校提携

2029年までに新留学システムを作り、子供達の心にある、日本と海外の国境をなくす。

11. 大学教育学部との提携

2029年 ビジヨナリー学習塾でのインターンで大学の単位が取れる仕組みを作る。
大学と提携し、新たな教育コンテンツの開発と新しい先生の採用・育成を行う。
大学生向け講座（就活講座・起業講座）を開発し、大学生への教育をスタートする。

12. 先生の人材紹介サービス構築・完成

2028年にDream Teacherで育った先生方を人材紹介サービスで様々な教育系企業への派遣をする。
様々な塾においての人の悩みを解消していく。

13. 教材会社を設立する

2030年理想の教育を実現するための教材を自社コンテンツで開発していく。
特に教育の面で力になれる教材を全国に普及していく。

2025年度「Quality Shift」～ 質の次元を一段階引き上げる変革を～

- ◎3教室経営生徒数 240名 (西新宿95名・ 方南町教室 115名・ 高校部 30名)
- ◎2024年度社員5名体制 (西新宿2名(2026年1月-)・ 方南町2名(9月から+1名)・ 高校部1名)
- ◎社員採用2名 (1名 [方南町校1名(9月まで)・ 1名[西新宿校1名] 2026年1月-3月の間))
- ◎2026年 2-3月 第3教室の出店の準備
- ◎小学生教育 / 高校受験指導 / 定期試験指導力の向上
- ◎教材 (模擬テスト・ オリジナル教材) の質の向上
- ◎ビジョナリーだけで一般でMARCH以上・ 国公立の合格者を出す
- ◎講師の数値化・ ランクアップ制度の質の向上を通し講師が校舎をまわせる仕組み

2026年度「理念浸透」～ 文化で育成できる仕組みづくり～

- ◎ i-standard受講する
- ◎生徒数315名 (西新宿110名・ 方南町教室115名・ 高校部40名・ 第3教室50名)
- ◎2024年度社員7名体制 (西新宿 2 名・ 方南町2名・ 高校部1名・ 第 3 教室1名・ 無所属1名)
- ◎社員採用2名 (1名 [方南町校1名(9月まで)・ 1名[無所属1名] 2026年1月-3月の間))
- ◎高校部の2027年3月出店 / 早慶上理以上の合格者を出す
- ◎2026年度より武川が現場から少しずつ離れてマネジメントができる体制を作る
- ◎マーケティングに投資をしてマーケティングに強い会社体制を作る

2027年度「挑戦」～ 夢教育を社外の会社へ広めていく～

- ◎クオリティカンパニー基準達成 / i-dynamic受講する
- ◎生徒数370名 (西新宿120名・ 方南町教室120名・ 高校部50名・ 第4教室80名)
- ◎2025年度社員 9 名 (西新宿2名・ 方南町2名・ 高校部2名・ 新規校舎2名・ 無所属1名)
- ◎社員採用2名 (新卒2名)
- ◎武川が現場から離れて完全に離れてマネジメント体制を作る
- ◎経営コンサルティング2社 / 塾業界のセミナー講師3件
- ◎教育系人材紹介の事業・ 教材コンテンツ事業をスタートする。

教室運営事業

「Quality Shift」～ 質の次元を一段階引き上げる変革を～

< 目的 >

今期は『Quality Shift』をテーマに行動をしていきます。今まで当たり前に来てきたことも疑いの目を持ち、もっと良くていいことはないか。もっと改善できることはないかと常に考えて行動していく。常に挑戦の気持ちを持ち、守りに入るのではなくどんどん今までより良くしていく気持ちを持ち行動していく。全ての質において当社の理念である『感動の追求』により感動レベルを高めていく。教育・会社の仕組み・塾の仕組み・環境整備など細かいところまでより良くしていく先に文化や理念浸透が行われる。今年度の社員3名採用実施などを見据えて、来年・その先を見越した今を常に過ごしていくことを大事にしていく。常に今という視点ではなく未来から逆算した視点を持って仕事ができるように考えて行動していきましょう。

教務面では小学部ではコンセプト作りを再度構築して、中学受験を非受験の方が強い塾というブランドを確立させます。中学に接続するときベストな状態を作って中学生に接続できるようサポートできるような体制を作っていきます。その中でも算数・国語・英語の3科目の専門性を磨き、体内外的にもコンセプトが浸透する状態を作っていきます。中学部では模擬テストと都立入試に向けた問題集を改訂します。都立高校受験に強い塾を作るために全て実行して都立高校受験の合格率を高めていきます。宿題は出すことを目的とせず、定着をすることを目的に出し、子ども達がきちんと理解できるように小テストの実施する頻度を高めていきます。大学受験部は週間プランニングができる講師を増やしていき、講師が週間プランニングをまわし、社員が管理をする仕組み作りを実現していきます。常に週間プランニングも改良・改善をして、大学受験指導の強化を行っていきます。また、教科指導面でもマニュアル作りを行い、国語・数学・英語においては再現性を高く持って指導ができるようにしていきます。

募集面ではHPを改訂することにより、Web広告を今年力を入れていき、問い合わせ数を去年の1.3倍伸ばせる戦略を立てて実施します。また、潜在顧客を増やす活動にも力を入れていき、今後の問い合わせ数を増やしていく活動もしていきます。具体的にはアドワーズ広告・メタ広告に力を入れていきます。地域の方々の認知を増やしていき、塾として地域のブランディングも一段階上の次元にしていきます。ポスティングも数より質を重視し、マンションポスティングを実施して、きちんとターゲティングされた所にチラシが届くようにしていきます。

運営・経営面では仕組み化できるように様々なことを動画化・言語化・実用化していきます。社員・講師の育成にも使えるように常に動画・マニュアルを作っていく、コンテンツを貯めていきます。また、その動画のチェックテストを作り、整理をしていきます。今まで感覚でやっていたことを常に言語化していきます。また、一つ一つのファイルを整理してもっと効率よくできる方法はないかを考えてスプレッドシートを整理していきます。経営面ではいかに社員が働き甲斐のある会社を作れるか。ここに注力をして運営をしていきます。きちんと単価を高めて、売上を上げて従業員に還元できる仕組みを再度ブラッシュアップしていきます。また、ビジョナリーカンパニーをもっと深く学ぶこと。一つ一つの業務の仕組みの精度を高めていきます。

< 上半期目標 >

2025年9月30日までに生徒数 219名

西新宿教室 96名

方南町教室 96名

高校部教室 27名

< 下半期目標 >

2026年3月31日までに生徒数 240名

西新宿教室 95名

方南町教室 115名

高校部教室 30名

塾経営に関する本

- いきさま 日能研と歩んだ起業家人生40年 / 小嶋 勇 (コジマ イサム)
- 子にかける×子にかけない / 柴山 健太郎

生き方に関する本

- 目標達成の技術 / 青木 仁志
- 一生折れない自信の作り方 / 青木 仁志
- 明日死ぬかもよ / ひすいこたろう
- モノの見方検定 / ひすいこたろう
- 前祝いの法則 / 大嶋 啓介
- 生き方 / 稲盛 和夫
- 営業の魔法 / 中村 信仁

教務指導に関する本

- ビジネス選択理論能力検定3級&2級&準1級公式テキスト / ビジネス選択理論検定委員会
- 図解&場面でわかるプロ教師の「超絶」授業テクニック / 中土井 鉄信
- 図解&対応例でわかるプロ教師の「成功する」保護者対応の極意 / 中土井 鉄信
- 図解&会話例でわかるプロ教師の「最強」コーチング術 入門編 / 中土井 鉄信
- 受験脳の作り方-脳科学で考える効率的学習法 / 池谷 裕二
- キッズコーチング / 佐藤 英郎
- 伝え方が9割 / 佐々木 圭一
- 生徒指導10の原理・100の原則-気になる子にも指導が通る110のメソッド / 堀 裕嗣
- 一斉授業10の原理・100の原則-授業力向上のための110のメソッド / 堀 裕嗣
- 人間を育てる 菊池道場流 叱る指導 / 菊池 省三
- ドラゴン桜とFFS理論が教えてくれる あなたが伸びる学び型 / 古野 俊幸
- 勉強法のベストセラー100冊のポイントを1冊にまとめてみた。 / 藤吉 豊

時間管理に関する本

- 脳のパフォーマンスを最大まで引き出す 神・時間術 / 樺沢 紫苑
- 人生を変える時間戦略 / 青木 仁志
- 時間を「うまく使う人」と「追われる人」の習慣 / 滝井 いづみ
- 鬼速PDCA / 富田 和成

読書に関する本

- レバレッジ・リーディング / 本田 直之
- 究極の読書法 / 鴨頭 嘉人

健康に関する本

- 医者が教えるサウナの教科書 / 加藤 容崇
- スタンフォード式 最高の睡眠 / 西野 精治
- 人生がときめく片づけの魔法 / 近藤麻理恵

長期インターンシップ×バイト = 『キャリアバイト』の仕組み

アルバイト講師が教育者として成長できる『キャリアバイト』の仕組みを作ります。学生講師が様々なことを学び、講師の体験を通して自分の人生が変わる学びを提供していきます。また、この仕組みを確立していき、最終的には先輩講師がアルバイト講師を育成する仕組みを作り、全校舎間のつながりを増やしていきます。

■ キャリアバイトとは？

『成長×アルバイト』

アルバイトをただお金を稼ぐためではなく成長と紐づけたアルバイトにしていく。成長できることは『教育力』『人間力』『社会性』この3つを身につける仕組み作りにする。キャリアバイトを通してこの3つの力を身につけて社会で活躍できる人財に育ていきます。

■ キャリアバイトによって得られる学び

< 全員共通して得られる仕組み >

① 【教育力】学習塾講師として子どもたちに感動を与えるプロになる力を身につける

- (1) Youtubeでの講師としての学びができる動画配信
- (2) スタディサプリでのプロの教え方を学ぶ
- (3) 年3回行う講師研修やキックオフ会議や経営計画発表会や評価面談
- (4) 講師授業研修の日程

② 【人間力】選択理論心理学を学び、豊かに生きるコミュニケーション力を得る

価値観教育によって自分自身の在り方を磨いていく。

- (1) 選択理論心理学を学び、選択理論を土台としたコミュニケーション力をつける
- (2) 価値観を磨き続けて、自分自身の在り方を磨き続けられるようにする
- (3) 働く目的を明確にして、目的意識を持った人に成長できるようにする
- (4) 読書等の学びを共有する

③ 【社会性】社会人基礎を身につけて社会に出て活躍できる力を身につける

- (1) 社会人としての基礎を初回の講師研修やハンドブックで学ぶ
- (2) 保護者へのDTSをして保護者様に対しての接し方を学ぶ
- (3) 挨拶・礼儀などを学び自分自身に活かすことができる力を身につける

■ キャリアバイトによって得られる学び

<教育力>

① 【教育力】学習塾講師として子どもたちに感動を与えるプロになる力を身につける

(1) Youtubeでの講師としての学びができる動画配信



動画をここから増やしていき、動画マニュアルを充実していきます。ここで学んだ情報を基に生徒の指導にあたるとより良い指導につながっていくと思います。今月の重点項目はもちろん必要な情報を常に更新してアップしていきます。勤務前の電車等時間あるときに見て確認をすると良い指導ができるかと思います！

(2) スタディサプリ・Youtubeでのプロの教え方を学ぶ



スタディサプリは全て学校準拠でプロの講師が授業をしてくれています。ここでの情報を学ぶことで自分の授業に活かすことができます。

<塾のスタディサプリ>

ID passionzemi

PW passion1234

(3) 年3回行う講師研修や経営計画発表会や評価面談

<2025年度の日程>

- ①5月11日(日) 経営計画発表会10:00-13:00
- ②7月6日(日) 夏期前全体講師研修会 17:30-19:30
- ③12月14日(日) 冬期前全体講師研修会 18:00-20:00
- ④3月10日(火) 10:00-12:00 講師全体研修会

積極的に参加して自分のレベルを上げていきましょう！

(4) ランクアップ研修会の日程

ランクが上がった方を対象にランクアップ研修会を実施します。

こちらは今までにない取り組みのため、昨季以前にランクアップしている方も5月・6月の会はいずれかに基本的にはご参加をいただければと思います。10月・11月のランクアップからはその都度、ランクアップしてからの研修となります。ご確認よろしく申し上げます。以下の日程のいずれかの日程に参加をお願いできればと思います。全てZoomで私服で参加OKとします。

<Cランクアップ研修>

- ①【上半期】5/25(日) 18:30-20:30
- ②【上半期】6/15(日) 18:30-20:30
- ③【下半期】10/18(土) 10:00-12:00

<B以上のランクアップ研修>

- ①【上半期】5/24(土) 10:00-12:00
- ②【上半期】6/14(土) 10:00-12:00
- ③【下半期】10/25(土) 10:00-12:00

■ キャリアバイトによって得られる学び

< 人間力 >

① 【人間力】選択理論心理学を学び、豊かに生きるコミュニケーション力を得る 価値観教育によって自分自身の在り方を磨いていく。

(1) 選択理論心理学を学び、選択理論を土台としたコミュニケーション力をつける



世界10大心理学の一つである『選択理論心理学』を土台に我々は学習塾経営を行なっています。選択理論心理学を学ぶと『人の行動のメカニズム』がわかります。なぜこの人はこのような行動を取ったのか心理学的にわかるようになります。また、自分の欲求の強さ等を知ることができるので『セルフコントロール力』も身に付きます。教育業界では世界でも注目されている心理学です。また、ビジネス選択理論検定3級の受験補助をします。3級は6,000円の半額会社で負担しますのによければ勉強してみてください。

< 2024年度ビジネス選択理論心理学検定 >

①2024年5月26日(日) 第1回

②2024年11月24日(日) 第2回

ウィリアム・グラッサー博士

(2) 価値観を磨き続けて、自分自身の在り方を磨き続けられるようにする

【感動追求】 【情熱】 【感謝】 【規律】 【成長】 【共創】 を追求し続ける。

(3) 推薦図書を読み人生を豊かにしていこう！

読書は本当に大きな学びになります。是非、学生のうちに良い本を読み、良い価値観で社会人生活がお送れるように推薦図書を読んでみてほしいと思います。西新宿の本棚を人生で学びになる本をたくさん置いておくので是非、興味があれば借りてください！

キャリアバイトによって得られる学び

< 社会性 >

① 【社会性】社会人基礎を身につけて社会に出て活躍できる力を身につける

(1) 社会人としての基礎を初回の講師研修やハンドブックで学ぶ



社会人としての基礎やルールの中で生きることをこの学習塾を通して学んでいけるようサポートをしていきます。きちんとこのマニュアルを読み、理解をして行動をしていきましょう！

(2) 保護者へのDTSをして保護者様に対しての接し方を学ぶ

D (Direct) T (Telephone) S (Service) でお子様の状況を校舎の電話を使って電話する。目的は保護者の方にきちんと安心してもらえるように塾での様子を伝えることです。また、保護者の方から要望等も伺えるのでそれをきちんと意識して指導をしていくこともできます。

< DTSのやり方 >

- ① 『もしもし、〇〇さんの〇〇の教科を担当しているビジョナリー学習塾の〇〇と申します。
いつもお世話になっております。』
- ② 『この度は〇〇君の最近の学習状況をお伝えしたくご連絡いたしました。』
- ③ 『今少しお時間大丈夫でしょうか。』
- ④ 『良いところ・感動してたところを最初伝える』
- ⑤ 『もっと良くなるところ・課題点を伝える』
- ⑥ 『それに向けてこのように頑張っていきます！』という展望を伝えていく。
- ⑦ 『ご家庭ではいかがでしょうか』とご家庭の状況を聞く。
- ⑧ 『何か塾に対してご要望等がありますでしょうか。』
- ⑨ 『いつも本当にありがとうございます！引き続きよろしくお願いいたします。失礼いたします。』

(3) 挨拶・礼儀などを学び自分自身に活かすことができる力を身につける

挨拶や礼儀などを講師マニュアル等で学ぶことを通して社会で働くということを学べる環境を作っていきます。きちんと規律を守ることや目上の人への接し方などをここで学んでいってください。

DTSについて

○目的

- ① ご家庭での状況を聞き、生徒の指導に活かしていくため！
- ② ご家庭では塾での様子がわからないため、報告することで保護者様を安心させるため！

○対象

メイン担当の生徒に対して（Cランク以上の方）

○DTSの手順

<手順>

- ①塾のパソコンからリアルテを開き、画面上部の「生徒」を開く。
- ②画面右で生徒名を検索する。
- ③連絡先に書かれている番号に電話をかける。（基本的には携帯電話にかける）
- ④画像の手順で話す。
- ⑤画面下の「対応」から、種別「DTS」を選び、メモ欄に話した内容を記入する。

（保護者からの要望等）

- ⑥「登録」を押す。

<内容のポイント>

- ・生徒の良いところをたくさん褒める。ex「前まではこうでしたがこんなふうに成長しました」
- ・生徒との会話内容、保護者が知らなそうなことを伝える。
ex「〇〇高校に行きたいそうで、今そのために勉強を頑張っています」
- ・前向きに改善点を伝える。
- ・成果が出ていない子については、生徒の責任にしない。
ex「今こういう風に頑張っていますが、～するともっと良くなると思います。これからこのように指導し、苦手を克服できるように努めてまいります」
- ・小さな変化も褒める。

<話し方のポイント>

- ・ゆっくり
- ・声のトーンを上げる
- ・熱意と感謝の気持ちを伝える

保護者様からすると、お子さんの塾での様子が見えないため不安を感じるはずです。

そんな不安を解消するために、現状と方針を伝えるDTSが大切です。また、DTSを行うことで、担当生徒との関わり方や指導法を見直す良い機会になると思うので、是非積極的にやっていただけると嬉しいです。

○DTSを行うタイミング

毎週何週目はこの人を電話していこうというのを明確にしてかけていきましょう。
タイミングは勤務前・7:05-7:20の間・22:00以降で1人など活用していきましょう。
対象の生徒はメイン担当の生徒にかけることを意識していきましょう！

- DTSで所定の時間より勤務が伸びた場合は勤怠申請の際に申請をしてください。
申請していただければ『事務給』として給与を支給します。

DTS のかけ方



DTS の入力方法



1 電話対応の基本

- ① ゆっくり丁寧にお話をする
- ② 表情は常に笑顔で対応する
- ③ 普段のトーンより1トーンあげて接すると良い対応ができます。

2 受け取る電話について

第一声は『お電話ありがとうございます。ビジョナリー学習塾の〇〇です』

保護者の場合は第二声は『お世話になっております』

< 基本的なスタンス >

- ・ 分かる範囲で電話対応は対応する
- ・ わからない場合はすぐに社員につなぐ

つなぎ方『担当のものにつなぎますので少々お待ちください』→保留ボタンを押す

- ・ 少しの間、社員が教室にいない場合

つなぎ方『担当のものが席を外しておりますのでまたこちらから折り返しご連絡します』

- ・ 社員が休みの場合

つなぎ方『担当の〇〇が本日お休みを頂いておりますので、担当の〇〇からまたご連絡致します。』

< 新規のお電話の場合 >

基本的には社員につなぐ。いなければ以下の手順に従って対応する。

目標は必ずアポイントまでとりつけること。

- ① 『お問い合わせありがとうございます』ともう一度感謝する

- ② お子様の状況を聞いてあげる。

(どういったところが課題ですか？勉強の状況どんな感じなんでしょうか？)

- ③ 流れを伝える

「一度お母様と教室長と面談をさせて頂いて必要であれば体験授業を受けて頂いてお子様が良いというのであればご入会するという流れを取らせて頂いたので、面談の日程を決めさせて頂いてもよろしいでしょうか？」

- ④ グーグルカレンダーを見て社員が空いているところを伝え、面談日程を取り付ける。

(基本平日は12時以降から大丈夫。土日は空いていないことが多いので平日に都合がつかなければこちらからまたご連絡しますとお伝えください)

講師が自立して子ども達の成績を上げられる仕組み作り

講師が生徒をどんどん引っ張っていきことができ教室運営ができる環境を作りたいと思っています。カリキュラム作成・目標目標設定・DTSなど授業以外のことにも挑戦していくことはもちろん。校舎運営も講師がまわせる仕組みを作り、講師がどんどん主役になれるような校舎創りを大事にしています。また、事務の仕事を手伝ってくれる人を募集し、教材作成・教室運営業務も皆さんの力を借りながら運営できる体制を整えていきます。

具体的な目標

- ①志望校合格率95%以上の達成
- ②定期テストの目標点数達成率80%以上
- ③3C：宿題忘れ5%以下 小テスト合格率90%以上 遅刻5%以下
- ④DTS：月1回以上・新規生は月2回以上

コミュニケーションに関する目標

①年4回以上の飲み会 & 誕生日の実施！
奇数月に1回は飲み会を実施します。講師リーダーが企画していきます！各教室の先生も増えてきたら交流会もできたら良いかと思います。発信していきますので是非参加よろしく願いします！

②5分MTG (7:10 ~ 7:15) に実施！

< 目的 >

- ①指導においての目的・目標の確認をする。
- ②今月・今週の重点指導項目の確認と連絡事項の共有をする！
- ③指導のセットアップをかけて良い気持ちの状態に指導にいけるようにする！
- ④講師同士がコミュニケーションを取るきっかけとする！

< 内容 >

- ①室長 (社員) より価値観や今週の重要事項の確認を伝えていく
- ②何か目標や数値の面で共有すべきことがあったら確認をする
- ③リーダー講師・他の講師の先生から気づいたこと・全体に共有すべきことがあったら共有する
- ④今日の意気込みを一人ずつ伝え、承認の拍手を送る！

MTGの手順

- 1 ミーティング担当者が、『では今日のミーティング始めます。よろしくおねがいします。』と伝え、『全員よろしくお願いします』と伝える。
- 2 ミーティング担当者が今月の共有事項と今週の共有事項。意識したいことについて端的に共有をします。
- 3 その後、リーダー講師・副リーダー講師が共有すべきこと。確認すべきことを伝えていく。その日の掃除の割り振り担当を決めて掃除の割り振りを任せられた先生は誰がどこの掃除を行うのかという指示出しができる状態を作りましょう。
- 4 その後、一人ずつ今日意識することを伝えて、一人終わったら拍手する。といった形でミーティングをまわしていきましょう。共有するのは講師メンバー中心に共有をしていきます。
- 5 最後にミーティング担当者が、締めの一言を伝えて、『今日も一日頑張ってください。よろしくお願いします！』と伝え、終了。

役割について

○掃除の割り振り担当

→掃除リストの割り振りを行う。

○DTS担当

→授業後にすぐにDTSを行う担当。

環境整備について

締め作業一覧表

- ・自分の担当場所を決めたら名前を書きましょう！
- ・授業共有の合間を見て、効率よく掃除をしましょう！

	月	火	水	木	金	土	日
掃除機・コロコロ							
集団ブース机拭き							
自習ブース机拭き							
授業ブース机拭き							
面談室 机拭き							
ホワイトボード拭き							
出入口周辺の掃除							
トイレ掃除（男子）							
トイレ洗面台（男子）							
トイレ掃除（女子）							
トイレ洗面台（女子）							
可燃ゴミ（水・日）							
不燃・資源ゴミ（木）							

<役割>

・掃除機・コロコロ

→教室の床に落ちているゴミを掃除機やコロコロを使って取っていきましょう。
隙間等に落ちているゴミはコロコロを使うと取りやすいのでおすすめです。

・自習ブース・集団ブース・授業ブース・面談室 机ふき

→ウェットティッシュできちんと拭きましょう。特に机の色が白のテーブルは鉛筆の跡がのこっていないか注意して拭いていきましょう。

・ボード拭き・ペン整理

→ホワイトボードを綺麗に拭くのとホワイトボードマーカーが外に出ている場合はマーカーをきちんとペンケースに戻しましょう。使い切っているマーカーがあったら使用済みマーカーボックスに置き時間があればペンの替えを詰めましょう。

・出入り口周辺の掃除

→出入り口周辺は明日、1番最初に保護者様が来て汚いと思わないように特に徹底して行いましょう。細かいところまで意識して拭いたり、スリッパの整理をしましょう。

・トイレ掃除

→トイレ掃除は便器が綺麗かどうか。トイレの周りが綺麗かどうか。またトイレの洗面団が綺麗かどうかを意識して掃除していきましょう。

メイン担当制度について

○目的

- ① 講師の先生が担当生徒の定期テストの目標点数を高めることにコミットしていき、責任感を持って子供達の指導ができるようにするため。
- ② 講師自身も自分自身の行動の結果が見える化されることで自分自身の成長に繋げていくため。

○役割

- ① 担当生徒のモチベーション管理・学習目標・学習以外の目標の設定等を行う。
- ② 担当生徒との定期的な生徒面談・DTSを行う。
- ③ カリキュラム作成等も必要であれば行う。

○面談に関して

- ① 担当生徒のモチベーション管理・学習目標・学習以外の目標の設定等を行う。
- ② 担当生徒との定期的な生徒面談を行う。
- ③ 担当生徒との定期的なDTSを行う。

○面談について

時期によって様々な面談を行う。授業中にできれば授業中でOK。授業中より長い時間を使う場合は、5分休憩・15分休憩を使って生徒との定期的な生徒面談を行う。結構時間が必要な場合は教室長に目的を伝えて、実施する。

○時期（中学生 例）

4月：年間目標の設定	9月：定期試験の目標設定	1・2月：定期試験の目標設定
5月：定期試験目標の設定	10月：定期試験の振り返り&目標設定	3月：定期試験の振り返り&春休みの目標設定
6月：定期試験の振り返り	11月：定期試験の振り返り	
7月：夏休みの目標設定	12月：冬休みの目標設定	

メイン担当の数値目標について

○対象

普段の授業から定期試験指導をしている中学生

○方法

① 1ヶ月前・定期試験前に学習ガイダンスで点数設定を行う。不参加者は担当講師と目標設定面談を行い、Google フォームに入力する

② その目標を校舎掲示に書き、見える化。データでも講師と連携して共有する。

③ 定期試験後に定期試験を回収する。

④ 点数一覧表を定期試験終了後に回収する

⑤ 社員の先生から定期試験終了後3週間以内に結果のデータの共有をする。

⑥ 6月の定期試験は夏の講師研修。(9月)・11月の結果は冬の講師研修で発表する。

2月の定期試験の結果は春の講師研修で発表する。

※9月の定期試験は夏休みが終わってすぐのため、担当の先生の成果が見えづらいため結果発表のみ

○表彰

※メイン担当が5名以上の方を対象とします。

① 目標達成率NO.1 賞（メイン担当生徒に対して担当科目の目標達成率が高い人）

② 大幅点数UP No.1 賞（前回点数に比べて目標点数が高い人）

③ 定期試験貢献度 No.1 賞（各教室長から見てドカン講座の参加も含めて定期試験に貢献している人）

☆定期テストの点数の上げ方

- ① 生徒のやる気に火をつける（目標設定面談・定期テスト1ヶ月前イベント）
- ② 生徒のやる気を持続させる（普段の授業・自習管理）
- ③ 挫折をさせない（模擬テスト）

→我々が定期テストの達成へ導いてあげることが我々の責任である。

生徒の我流を尊重するのではなく勉強法をきちんと伝えてあげることが指導である。

1 定期テスト当日までのフロー

- ①1ヶ月前に生徒と面談をし目標設定面談を行う
- ②授業では最低でも1周目は3週間前に予想されているテスト範囲が終わるプランを作成する（終わらない場合は自習に来させたり、空いてる時に隣でサポートする）
- ③1週間前までに模擬テストを1つ90点以上取れる状態と学校ワークを提出できる状態を作る
- ④1週間前からは特に積極的に自習に呼ぶ。土日のテストドカン講座までに2個の模擬テストを90点以上取れるようにする。そこで苦手な範囲を潰していき、苦手をなくしていく。
- ⑤前日の勉強法は模擬テストの復習。自信をつかせて本番へ向かわせる。

2 目標設定面談のやり方

目標設定面談でまず一番大事なことは「必ず達成する目標を定めること」生徒は基本的には高い目標を定めがちです。高すぎて目標達成できなくて自信を喪失するより達成できる目標を定めて達成した時に本人をたくさん褒めた方が本人の自信につながります。

- ①生徒と前回のテストの点数を確認する。この時に前回の点数はこちらから伝える。（その子の点数を把握しておく必要があります。）
- ②テストの点数に関しての情報を伝える。（これぐらいあなたはいければかなり成長だよという情報を伝えておく）
- ③本人に目標点数を決めさせる。
- ④そのためにすべきことを約束する。（必ず1週間前までには学校ワーク終了（提出できる状態）と自習にどれぐらい来るか決める）
- ⑤先生も頑張るから一緒に頑張ろうと支援者の立場を取ることを伝える。（その後の授業では必ず進捗確認をする）
- ⑥カルテに記入する。

3 模擬テストのやり方

① 問題の解かせ方

→片面ずつ解いてもらう。片面が完璧になったら次のページへ行く。きちんと完璧になってから次に進めるようにサポートをしていきましょう。大事なことは 解き直しで着地する授業をすること です。解いたままで次の授業でも間違える事がないようにきちんと復習を大事にして授業を進めていきましょう。

② 宿題の出し方

→宿題は基本的に解き直しを出しましょう。しかし、問題が解けそうな場合はその先の部分も宿題に出す事がオススメです。そうすると次の授業が短縮されて、間違えたところの時直しからスタートをすることができます。宿題を効果的に使って、授業を短縮できるように意識していきましょう。

定期テスト期間の自習企画 & 褒める施策について

■ 定期テスト期間の自習企画について

○目的

- ①定期テスト中に前向きに自習する子を増やしていき、点数UP・学習習慣に繋げるため

○行うこと

- ①定期テスト1ヶ月前になったら自習ランキングの掲示を開始する
- ②1時間ごとに自習をしたらシールを貼るようにする
- ③総合計の時間を見て表彰を各定期試験ごとに行う。
- ④定期試験終了後 2週間以内に発表して表彰状の掲示をするのと生徒に渡す。

○表彰状の項目

- ①各学年ごとの自習時間の合計時間
- ②自習の質を評価する

■ 担当生徒のプラスの変化を保護者様へ報告する

○目的

- ①保護者様が生徒のプラスの変化を少しずつ感じ取れるようにするため
- ②ご家庭で褒める機会を増やすこと

○行うこと

- ①担当生徒の変化や小テストの結果など見えるものを写真で撮り、社員の先生へ送る
- ②社員の先生（Bランク以上の先生）がその変化を各ご家庭に個別でラインで送る

○各講師にお願いしたいこと

できるだけプラスの変化を写真等に撮って送ってください！

■ 小・中学生に保護者様に授業で習った事を宿題に出す！

○目的

- ①保護者様が塾での様子を理解し、安心をしてもらうため
- ②生徒にとっても学んだ事をアウトプットする事で知識を定着するため

○行うこと

- ①授業の最後に今日習った事を2-3つほど言ってもらう。
(難しそうであれば今日習ったことはこれだという事を伝えて復唱をしてもらう。)
- ②生徒に今日習った事を是非、お父さん・お母さんに説明してみてねという宿題を出す。

カリキュラム作成について

○目的

- ① ドカン講座ではなく日々の授業で完結していく環境を作り点数を上げられる環境を作るため
- ② 講師が逆算カリキュラムを意識した指導ができるようになり生徒の成長と講師自身の成長に繋げるため

○対象

カリキュラムの作成時期で中学生対象で最低3名以上。
※ 対象の子以外も希望があればカリキュラム作成を行ってよい。

○手順

- ① 対象の期間に社員の先生からやってほしい対象の生徒を伝えてもらいカリキュラム表の紙をもらう。
(担当生徒は全員できれば良いが対象は絞っても OK)
- ② 原則、校舎に来て作成をしてその時間分の事務給を出す形にします。
家に持ち帰りカリキュラム作成をする場合は最大1人20分とし、自分でカリキュラム作成にかかった時間を計算し申請することとします。
- ③ カリキュラム作成後は社員に写真を撮って送り、確認・チェックを行います。

○カリキュラム作成方法

- ① カリキュラムの雛形・作成動画を見て必要な部分を明確にする
- ② カリキュラム作成で特に大事な部分は『定期試験日の把握』『残り授業回数の把握』『定期試験の傾向の把握』をしていきましょう。
- ③ カリキュラムは指導カルテの裏に書き、表面には実際に実施したものを書きましょう。
現状との差異を確認していきましょう！

○カリキュラム作成 時期 中学生

カリキュラム時期	作成期間
4月-6月の定期試験まで	4月2週目-3週目まで
9月の定期試験後-11月の定期試験まで	9月3週目-4週目まで
1月の冬期講習後-2月の定期試験まで	1月2週目-3週目まで

定期テストチェックシートについて

テスト1ヶ月前			
項目	進捗状況	備考	コメント
定期			
点数分析			
式の計算の利用			
証明 (文字の証明)			
証明 (図形の証明)			
平方根			
複素数①②③			
複素数④⑤⑥			
学校のワークプリント			
<方針>			
テスト2週間前			
定期			
点数分析			
式の計算の利用			
証明 (文字の証明)			
証明 (図形の証明)			
平方根			
複素数①②③			
複素数④⑤⑥			
学校のワークプリント			
<ポイント>			
・計算問題がきちんと時間制限がありできているかがポイント ・計算ができているから平方根の計算ができるかどうかの確認をする ・その次に文字と図形の証明をチェックする。			

目的：テスト前の指導においてチェックリストを埋めていく指導ができるようにするため！

理解度：◎ → とてもよく理解できている
○ → そこそこ理解できている
△ → まだ理解できていない

■ チャットワークについて

○目的

- (1) 過去問の共有をデータを活用して行うため
 - (2) その他、情報共有を行うため
- データ・ファイルの共有は全てチャットワークで行い、毎週の確認事項や細かい共有はラインを通して行う。ラインだと保存期限が短いため、チャットワークを用いる。

アプリ iphone 用



アプリ スマホ用



西新宿チャットワーク



方南町チャットワーク



■ リアルテについて

○目的

- (1) 生徒情報・特性の共有を行うため
 - (2) DTS をする時に情報をキャッチするため。
- 生徒情報がここに載っているのも初めて担当する生徒は特にリアルテの個性をみて生徒の趣味や今の現状を把握して授業ができるように活用していく。

■ 公式ラインについて

○目的

- (1) 保護者様からの連絡を見ることができて状況を掴むようにするため
- 塾のパソコンからお客様とのやりとりを見て、欠席連絡ができるようにCランク以上の先生方には塾のパソコンで公式ラインを見ることができる状態を作る。

■ セサミについて

○目的

- (1) 校舎運営をアルバイトの先生方でまわすことができるように！
- アルバイト講師の先生方にもセサミを共有して塾の鍵を開けられるようにしていきます。基本的にはBランク以上の講師・リーダー講師に共有していきます。鍵を開けられる先生は塾を私的に利用することはできません。こちらはご注意ください。

■ タポについて

○目的

- (1) 校舎の状況を把握するため。防犯対策のため。
- 校舎にこれから監視カメラを取り付けていきます。防犯や何かあった時のためにこちらは取り付けていきます。

校舎の運営について

○ペン立てについて

ホワイトボードマーカーはペン立てに入れて管理をする。ペン立てには以下の2つの物のみを入れるようにしましょう。

- ・ ホワイトボードマーカー3本(黒・赤・青)
- ・ ボールペン1本(指導記録書を書く用)

使用済みのペンは入れないようにする。使用済みのペンは使用済みペンボックスに入れるようにしましょう。



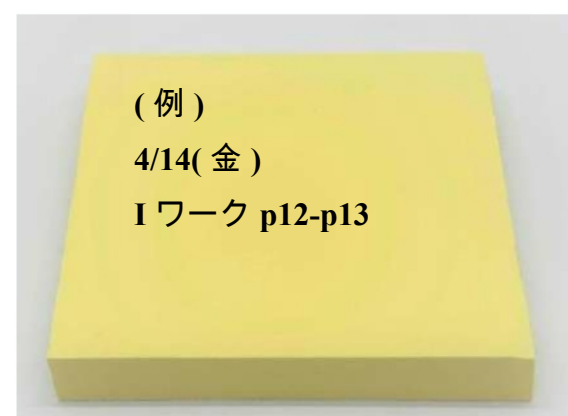
○裏紙ボックス

生徒がノートを忘れた時などは裏紙ボックスから裏紙を取るように伝えていきましょう。新しいコピー用紙から取ることがないようにお願いします！



○宿題出しの付箋化について

宿題は付箋を使って出していきましょう！付箋を生徒が宿題をやるページにつけて宿題を出すと本人もわかりやすく宿題を見つけることができます。また、前回の宿題の付箋は必ず剥がして宿題を書くようにしましょう。前回の宿題と生徒が混同してしまうことがあるのでお願いします。



○付箋について

ファイルを戻すときに最新の生徒カルテには「教科ごとに色分け」をしていきましょう

■ 系→英語 ■ 系→数学 ● 系→国語 ● 系→理社に

揃えていきましょう。次取る人が取りやすくなり
良い校舎環境を保つことができます。



○コピー機について

コピー機に関しては原則生徒が使うことがないようにお願いします。生徒が万が一コピーをして欲しいことがある場合は基本は講師が行うか、許可を取ってやり方を教えて生徒にやらせるようにしていきましょう。許可を取らない限り生徒は自分でコピーをすることができないようにしていきましょう。

○名札について

生徒から名前が覚えられるように名札を作成していきます。勤務開始時に名札を見て誰がどれだかわかるようにしていきます。また、西新宿校は講師紹介の掲示も生徒が通常授業時に見える位置に変えて生徒が講師と顔の名前が一致できるようにしていきます。

授業前の10分の使い方

●授業前10分は準備をする時間

	業務内容
授業前 10分	・当日担当する生徒カルテの準備（5分） ↳ 生徒ファイルから担当科目分を抜き出し、バインダーにまとめる ・社員から共有（2～4分） ↳ 使用教材／授業内容／宿題内容が書かれているか ↳ 記載がなければ社員に確認して記入 ・授業前FBシートのチェック（1分） ↳ FBシートの「授業前」の欄を見て事前準備の最終確認 ・生徒の出迎え（残りの時間） ↳ 担当生徒に席の場所を教えていく。 （以下は時間に余裕がある場合にやっておくと良いこと） ・授業にて使用する教材やプリントの準備 ↳ 特に配布プリント等ある場合は印刷を済ませておく ・生徒カルテの事前記入 ↳ 日付や講師名など記入できるものはしておく ・生徒カリキュラムの記入をする ↳ 次の授業を何をすべきかフリクションを使い、書いておく。

授業後の10分の使い方

●授業後10分は振り返りと環境整備・掃除の時間

	業務内容
授業後 10分 or 15分	・授業後FBシートのチェックをする（1分） ・室長または社員のFB（3分） →FBシートを見て最終確認。 ・当日担当した生徒カルテを生徒ファイルに戻す（3分） →入力項目が全て記入できているかも最終チェックをする。 →授業中に書けなかったものは追記する。 ・環境整備（2分） →ホワイトボードと机の上を除菌し、机の下等が汚くないかもチェックをする ・勤怠報告（1分） →今日何コマ勤務したかを記録して終了。

給与の内容

○支給日：翌月、毎月20日（前月分の働いた分の給与）

※20日が土曜日・日曜日・祝日の時は次の平日の日に支給となります。

○授業給：1300円～1500円

※授業給の上限は1500円までとなります。

※5分休憩は全て授業給として給与に入れています。

15分休憩はMTGを5分間行うため、給与に入れています。

※入試特訓・講習等の10分休憩がある際は10分のうち5分だけ授業給に入れます。

※ドカン講座の間の10分休憩は2分給料に入れます。

（通常授業と異なり、指導記録書等を書くことがないためです。）

○研修給・事務給：1,163円

※授業以外のお給料に関しては全て事務給になります。

※前10分・後10分も給与に入ります。

また、22時まで働いた時は締め作業の5分も含めて後15分となります。

※（その他の例）模擬テスト作成・保護者様電話・保護者面談・校門前配布・チラシ準備・雑務など

※生徒が来ない場合で事務のお手伝いをしていただく時は事務給となります。

生徒が少しの時間でも来て、授業をしたら授業給になります。

※校門前配布の勤務は50分とします。先に配り終えたら事務を行いましょう。

その時間も校門前配布の時給とします。

（例）月・火・木・金は 15:25 - 16:15, 水は 14:25-15:15となります。

※年3回の面談は給与には入りません。ご了承ください。

○特別ボーナス

友人を塾に紹介してくれて、働いてくれたら紹介者に 1万円 を支給します。

※働いて試用期間である3ヶ月を超えて通常授業の講師として働いた方が対象となります。

※支給月は紹介者が3ヶ月を超えて働いた翌月に支給します。

（例）4月に紹介者が入社。4-6月通常通り働けば、7月支給の際に1万円を支給。

○給与申請について

毎月の7日までに前月の勤怠で何日働いたかを申請をする。申請方法は室長の個人ラインに送る。

毎日の記録はラインのノートにコメントをして1日何コマ働いたかを記録する。塾のラインの勤怠のノートに記入をするようにする。

給与申請のフォーマットについて

申請時は以下のフォーマットに従って提出しましょう。生徒が来ずに事務になったところは授業と事務を別に分けて申請してください。このような形で計算をして提出するようにしていきます。自分自身の授業の遅刻があったり何か変更があった場合は必ずそれも併せて報告をするようにしていきます。

給与の計算方法について

計算方法は以下の計算方法に従って計算をします。

< 通常・ドカン講座等の50分授業 ※締め作業なしで計算しています。 >

- 1コマ 70分 (50分授業+前10分+後10分)
- 2コマ 125分 (50分授業×2+前10分+後10分+間の5分)
- 3コマ 180分 (50分授業×3+前10分+後10分+間の5分×2)
- 4コマ 235分 (50分授業×4+前10分+後10分+間の5分×3)
- 5コマ 290分 (50分授業×5+前10分+後10分+間の休憩5分×4)
- 6コマ 345分 (50分授業×6+前10分+後10分+間の休憩5分×5)
- 7コマ 400分 (50分授業×7+前10分+後10分+間の休憩5分×6)
- 8コマ 455分 (50分授業×7+前10分+後10分+間の休憩5分×6)

< 講習授業・入試特訓等の75分授業 ※締め作業なしで計算しています。 >

- 1コマ 95分 (75分授業+前10分+後10分)
- 2コマ 175分 (75分授業×2+前10分+後10分+間の5分)
- 3コマ 255分 (75分授業×3+前10分+後10分+間の5分×2)
- 4コマ 335分 (75分授業×4+前10分+後10分+間の5分×3)
- 5コマ 415分 (75分授業×5+前10分+後10分+間の5分×4)
- 6コマ 495分 (75分授業×6+前10分+後10分+間の5分×5+残業15分)
- 7コマ 575分 (75分授業×6+前10分+後10分+間の5分×5+残業95分)
- 8コマ 655分 (75分授業×6+前10分+後10分+間の5分×5+残業175分)

※8時間以上を超える労働に関しては 超過した分の時間は時給の1.25倍 になります。

その他の細かい給与の計算方法について

①途中で事務をした場合は 事務は1コマにつき50分 (50分事務) で考える。

[例] 授業4コマ + 事務1コマ

授業240分 (50分授業×4+前10分+後10分+間の5分×4) + 事務50分 (50分事務)

②理科実験教室等のイベントのお手伝いやその他のお手伝い等に関してなど通常時間分を超えて働いた場合はその時間分ご請求いただければと思います。

③残業手当に関しては1日の中で 8時間以上 労働した場合に 残業手当 が出ます。
残業手当は8時間を超えた分の時間×時給の0.25倍が支給されます。

[例] 時給1200円の人が10時間働く。

8時間は時給1200円で計算。残りの2時間分は時給1500円で計算する。

※ $1200円 \times 1.25 = 1500円$

④深夜手当に関して

深夜給与の対象時間：深夜22時から翌朝5時までの労働時間

深夜給与の支給率：通常の時給に対して25%の割増

従って22時以降の労働については【事務給から25%割増】として支給をさせていただければと思います。
現状は事務給が1,163円なので、22時以降については時給が【1,453円】となります。

⑤通常の授業にない時間に生徒の指導をしたい時

必ず社員さんに確認をとって目的を伝えて授業をしていきましょう。

その場に社員さんがいるからOKとかではありません。

社員さんに確認を取らずに生徒指導を行なうことは原則給料にはできませんのでご注意ください。

⑥持ち帰りの仕事について

基本的には塾で事務をやっていただきたいと思っています。

どうしても持ち帰りで仕事をやってもらう時は事前に目安の時間を必ず共通認識として伝え、その時間を上回って作業が必要な場合はまたそれを報告するようにしましょう。

それができない場合は持ち帰りの事務は行うことができません。

⑦ブログについて

ブログに関しては特別手当として1記事1,000円で支給します。

ブログを書いてくださるととても助かります！

勤務時のルール

① 普段の授業の時間がない時に生徒の授業をやりたい時

→ここで大事な考え方は生徒Win・講師Win・教室Winになっているかどうかを考えていくことが大事です。授業をしたい時は室長先生に相談をしましょう。そこできちんと目的と時間を伝えて承認を得てから行えばお給料として認めます。室長の許可なく行うことは原則給与として認めません。

② 欠席時のルール

→欠席時の考え方で一番大事なことは子ども・お客様・仲間にできるだけ迷惑がかからないようにすることが大事です。前もって予定がある場合は わかった時点でラインで連絡をしましょう。（できるだけ早く前もってわかると助かります。）その後、次の勤務時に室長・社員の先生に相談をしましょう。その際には欠勤する理由を必ず伝えましょう。体調不良や急なお休みの場合は 当日の朝（10時まで）には連絡をするようにしましょう。また、当日の欠席はできる限り 室長・社員の先生に電話をするようにしましょう。ラインだと気づかない場合があります。

◎前もって予定があることがわかる時の対処方法

→分かった時点で理由を伝えてラインで室長先生に相談をしましょう。相談して室長先生からOKをもらったら代わってくれる人を探します。具体的な行動としては全体ラインで代わってくれる人がいるかどうかを聞きましょう。それでも見つからない時は個人ラインで連絡をしていきましょう。基本的には代わりの先生が見つからない場合は出勤をお願いします。それでも難しければ室長と相談をしてください。

◎体調不良・急用が入ってしまった時の対処方法

→スピードが命です。できるだけ早い段階で室長先生に知らせること。当日の10時までには連絡をしてください。基本的には室長に電話をお願いします。

③ 遅刻時のルール

→社会に出ると1分でも遅刻は遅刻になります。子どもたちにこだわって約束を守ってもらえる人になってもらえるよう我々が遅刻に対してこだわっていきましょう。

◎遅刻しそうな時はその旨をラインか電話で室長に連絡する

→授業開始前10分前に遅刻をする際は必ず事前に連絡をしましょう。どれくらい遅刻するのかとその理由を室長に連絡をするようにしましょう。

◎遅刻した時に勤務する時は必ず自分から謝罪をすること

→子どもたちにも同じことを伝えてほしいと思いますが、遅刻した時は必ず自分から謝罪をしましょう。お互い気持ち良く働くために当たり前のことを大事にしていける組織にしていきたいです。

④ 挨拶のルール

→他の先生が来たら元気よく挨拶をしましょう。挨拶は社会人として当たり前のことです。お互い働きやすくなります。他の先生にきちんと感謝の意をもって挨拶をする文化を創ることが大事になっていきます。

⑤ 生徒が自分の授業時間にこなかった時

→ 生徒が授業の時間に来ていない時（8分過ぎている時）は室長に来ていないということを伝えましょう。室長が取り込んでそうなのであれば個人ラインでもOKです。また、二人とも生徒が来なかった時は室長の所へ行き生徒がいないことを伝え、事務を手伝ってもらうかお休みにするかを聞いていきます。事務を手伝ってもらう時は事務給になります。お休みの場合はお給料は発生しませんのでご了承ください。

⑥ 授業時間中は授業・塾に関することを行いましょう。

→ 授業時間は保護者様がお金を払ってお子様を我々に預けてくれています。その時間は全て子どもたちのためにできることを行いましょう。空いている時間があまりにもある場合は生徒のカリキュラムを考えたり、教材の準備をしたり、子どもたちを感動させるために何ができるかを考えて行動していきましょう。携帯電話を扱ったり学校の課題等、授業に関係ないことを行うこと禁止です。

⑦ 社員が校舎にいない日に授業をする時（土曜・日曜日等）

→ 必ず時間を守って授業を行いましょう。事前に申請のないお仕事は基本的には勤務として認めません。必ず報告・連絡を先にして社員の許可を取ってから仕事を行うようにしていきましょう。

⑧ 頭髪に関してのルール

→ 頭髪に関しては派手な色・変形カットは禁止とする。一番大事な観点は保護者様が見てどう思うかを考えてください。もちろん中身の指導が大事ですがパツと教室に入った時に保護者の方がこの人に任せて大丈夫かなと不安になるような第一印象はお客様にとってよくありません。髪を切るときに不安なときは事前にご相談をください。

⑨ イベント関連の日程変更に関してのルール

→ 講習・ドカン講座の日程変更等は講習開始日・ドカンの日時の1週間前の連絡であれば社員が対応いたします。それ以降の変更に関しては自分で代わりを探していきましょう。

⑩ ライン返信に関してのルール

→ ラインは基本的には情報発信ツールとして活用しますが、情報発信側の気持ちを考え、リアクションやコメント等で返信をするようにしていきましょう。情報発信をする側が気持ちよく情報発信ができるよう受け手が配慮することもあります。

■ その他お客様のルールで知っておいてほしいこと

① 生徒の振替に関して

→ 当日の2時間前までに塾のラインや電話で来れないことを伝えてくれれば振替はできる。2時間を過ぎてしまったら原則振替ができないルールになっています。また、振替の回数以下のようになっています。回数の制限もあります。3C破った時の対処法として必要なこともあるので知っておいてください！

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1)週1回通塾生・・・月に1回まで振替可 | 週2回通塾生・・・月に2回まで振替可 |
| 2)週3回通塾生・・・月に3回まで振替可 | 週4回通塾生・・・月に4回まで振替可 |

◎講師評価制度の概要

①実施期間：年2回実施

（第1回）9月：4月～9月の半年間の評価（翌11月支給分（10月給与）より適用する）

（第2回）3月：10月～3月の半年間の評価（翌5月支給分（4月給与）より適用する）

※ただし、アルバイト開始より3ヶ月間は試用期間とする。入社時期が3ヶ月を超えている人のみ評価の対象とする。勤務開始日（初回の講師研修）が第1回の評価は7月1日以前の人、第2回的评价是1月1日以前の方は昇給の対象となります。それ以降の方は昇給の対象とはなりません。

②実施方法：職務評価表を記入し、その合計点数によって時給を決定する

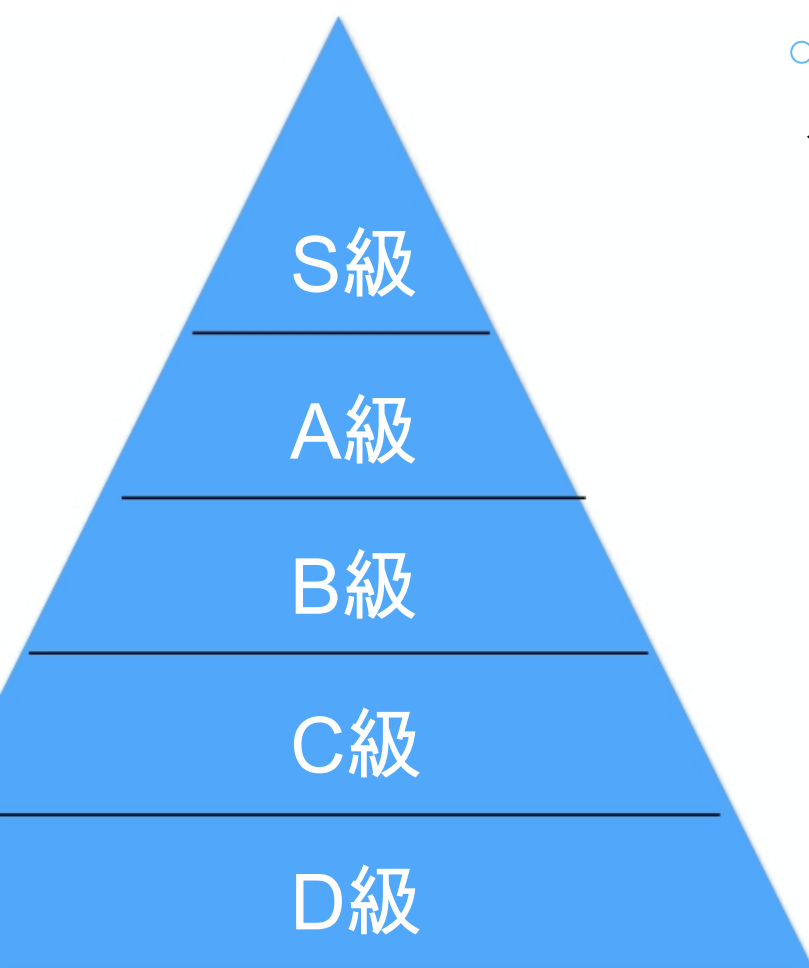
③時給は1300円スタート

昇給の回数に上限はないが、時給の上限は1500円とする。昇給の最大値は1ランクアップとする。

リーダーについて ◎講師リーダー 時給 +50円

講師陣をまとめていき、講師教育や様々な企画を行ってまいります。また、社員と講師をつなぐ懸け橋でもあり様々な点において連携を行なっていきます。週1回25分ほど社員と面談をして今週のやるべき実行リストを明確にしていくことが必要です。

年2回の360度評価(他者評価・自己評価)を使って
昇進のチャンスがあります!!



◎S級講師：時給1,450円

人事考課表において79点以上を獲得したものに与えられる。

◎A級講師：時給1,390円

人事考課表において68点以上を獲得したものに与えられる。

◎B級講師：時給1,360円

人事考課表において62点以上を獲得したものに与えられる。

◎C級講師：時給1,330円

人事考課表において53点以上を獲得したものに与えられる。

◎D級講師：時給1,300円

基礎講師研修を受けてテストに合格したものに与えられる。

◎降格について

人事考課において下のランクとなった場合は降格することもあります。きちんと上位を目指して行動していきましょう。

◎通常授業に入っていない講師について

通常授業に入っていない時のスポット講師は一律時給1,300円となります。通常授業のレギュラー講師になったら上記の評価講師に戻ります。

講師リーダーについて

講師リーダーは 校舎の顔 となる先生であり各講師陣を引っ張っていく存在です。働く先生達にとって見本となる存在 であり目標となる先生であることが必要です。講師リーダーとして他の先生が働く環境を整えたり、社員と講師を繋ぐ架け橋的な存在になっていきましょう。

<役割>

[1] 講師間のコミュニケーションの向上 & 社員の先生と講師を繋ぐ架け橋

→講師同士のコミュニケーションをより活発にしていく活動をしていきましょう。講師間でお互いに話しかけたり、飲み会を企画したり様々な観点でコミュニケーションを促進していきましょう。仲の良い職場を作ることが一つ目の役割です。また、社員の先生と講師を繋ぐ架け橋として様々な意見を吸い取り行動していくことも重要な役目となります。

[2]講師の教務力・指導力の向上

→『生徒から愛され、目標達成に導ける授業』を実現していくために講師の教務力や指導力向上を促進していきましょう。研修会を開いたり講師がより自信を持って子ども達のサポートができるように仕組みづくりを作っていきます。

[3]塾の運営力の向上

→塾が校舎の数値目標が達成できてより良く運営できるように運営面のサポートをしていきましょう。イベント講座・講習時・講師研修の講師の促進や他の先生に声掛け等を行ってもらいます。

<毎週やること>

週1回 25分程度のZoom MTG

→1週間のやるべき活動や先週の振り返りをして今週1週間行う活動を明確にしていきます。

<時給に関しての考え方>

D～B級講師であれば時給は +50円となります。

講師リーダーは週1回のMTGも含めて自分で考えて、業務時間外に作業を行うことがあるかと思えます。その貢献していただく時間を時給を高めていくことにより還元していくという考え方で時給を高めていきます。

<リーダー講師>

①MTG 以外で月2時間分の事務給を与えます。基本的には校舎で2時間分のリーダー業務ができるようにこちらは毎月事務給を与えます。リーダーMTGができない8月は対象外となります。

講師リーダーについて

< 講師リーダーに求めている人物像 >

(1) 塾を通して自分を成長させたいと強く考えている方

→講師リーダーになると責任もあるのでより自分を成長させたいという思いが必要となります。その思いが強い方が良いかと思えます。

(2) 他の先生の成長を手助けしたい。より良い校舎にしていきたいと考えている方。

→他の先生の手助けをしてより良い講師を増やしていく活動をしていきたい。もっと校舎自体を良くしていき、塾全体を良くしていきたいと考えている方がおすすめです。

能力も大事ですが、価値観が合っているかどうか。気持ちの面を重視して担ってもらいます。

★講師リーダーになるための条件

[1] 6ヶ月以上 ビ ジョナリー学習塾に勤務をしている

[2] 週に2日以上。最低12コマ以上授業を担当している。

[3] 講師ハンドブックをきちんと理解し、ルールに則った行動ができている。

※特に欠席時のルール・ 時間等をきちんと守って行動している方。

★講師リーダーになるための方法

①面談時に社員から声をかけられる

→講師の先生の働きぶりを見て、講師リーダーをやってもらえないかという声をかけさせてもらうことがあります。

②面談時に講師の先生からやりたいと立候補する

→自分から伝えてくれればこちらで検討をさせていただき、リーダーを担当してもらいかどうかを判断させていただきます。

★講師リーダーの定員

各校舎 講師リーダー・ 副講師リーダー 合わせて2名まで

Sランク

『準社員』 ～社員レベルで行動できる人財～

<このランクの役割>

- ・ 社員がいなくても校舎をまわすことができる運営能力を有している人（運営研修動画）
- ・ 保護者対応のDTS・面談ができて、生徒もどんな子でも対応できる人財
- ・ 講師マネジャーをマネジメントすることができる人
- ・ 校舎の数値目標を共に追うことができる人

Aランク

『講師マネジャー』 ～講師育成に長け、運営能力がある～

<このランクの役割>

- ・ 大学受験指導・中学受験指導・高校受験の理社のどれか2つを行うことができる知識がある
- ・ 校舎運営能力が長けていて校舎運営についてもBランク以下を指導できる！
- ・ 校舎の改良・改善に関するアイデアを積極的に出す人物
- ・ 講師のマネジメントを積極的に行う人物

Bランク

『講師育成』 ～講師育成・校舎運営が少しできるランク～

<このランクの役割>

- ・ 講師に対してフィードバックができる / 社員なしで校舎をまわすスキルを持っている
- ・ 大学受験指導・中学受験指導・高校受験の理社のどれか1つを行うことができる知識がある
- ・ 初回講師研修の2回目以降の研修ができる

Cランク

『生徒指導』 ～講師として自立して生徒指導ができる～

<このランクの役割>

- ・ DTSができる / 自習マネジメントができる / リアルテの活用方法を理解している
- ・ 自分の担当生徒がいない場合、自分で電話をして欠席・遅刻電話ができる
- ・ 3C管理を徹底できていて3Cを破った時の対処法ができています
- ・ 授業カリキュラムを自信を持って書くことができる
- ・ 季節講習の提案を勧めてもらう話ができる

Dランク

『基礎』 ～講師ハンドブックで学んだことを実践するランク～

<このランクの役割>

- ・ 基礎講師研修で学んだことを実行に移すことができるランク
- ・ 1対2の授業が1対1のクオリティーでできるランク

ランクアップ研修について

ランクアップ研修については4-5月に1回。10-11月に1回実施します。

こちらはランクアップ時必須の参加の研修となります。

ランクアップする先生方はこちらの研修に参加して能力を高めてください。

Sランクに上がる時に受ける研修

- ・ 保護者面談研修
- ・ 校舎運営研修 上級編

Aランクに上がる時に受ける研修

- ・ Bランクに上がる子の研修ができる
- ・ 保護者様対応研修

Bランクに上がる時に受ける研修

- ・ 講師教育のやり方研修を受ける
- ・ 校舎の開け閉め関連の研修 / ドカン講座・ 通常授業時の運営研修
- ・ 校舎のラインのチェック方法を学ぶ研修

Cランクに上がる時に受ける研修

- ・ DTS 研修 / 欠席連絡研修
- ・ カリキュラムの作成方法研修
- ・ 3C 破った時の対処法を伝える研修
- ・ 季節講習の勧め方研修
- ・ 自習マネジメントについての研修

Sランク講師について

○テーマ『準社員』～社員レベルで行動できる人財～

→社員レベルで仕事ができる人財。具体的には社員がお休みでも校舎をまわすことができる必要があります。保護者面談・生徒面談・季節講習の提案などあらゆる観点で行動することが求められます。社員向け動画をみてもらい、校舎運営の様々なノウハウを学んでいき、社員と共に校舎をより良くするために行動していくランクとなります。

○期間

最短 2年

○グレードの基準

[1]講師研修を自らが企画して自らが行うことができる先生

→講師研修を自身で開催して自身で運営して他の講師の育成をすることができている先生。他の先生に指導できる指導力を有している必要がある。

[2]子ども達だけでなく各講師や保護者様からの信頼が厚い先生

→子ども達から信頼されているのはもちろん。各講師や保護者様からも信頼が厚い先生である。積極的に保護者様ともDTSや面談等で話をして信頼を置かれている先生である必要がある。

[3]仕事・校舎に対しての責任感が高い先生

→自分の授業だけでなく他のことにも責任感高く行動することができている先生。校舎の雰囲気作りや社員との協力関係なども大事になっていきます。

[4]講師に対してフィードバックや共有ができる先生

→講師に対して講師ハンドブックに書いてあることを破っているときはきちんと注意できてお互いにお互いを高めることができる先生。

[5]校舎に社員がいなくても校舎をまわす能力がある先生

→校舎に電話がかかってきた時に積極的に電話に出たり、欠席連絡をすることができる。また、生徒を誘導したり、直来があったときにある程度対応することができる先生。

Aランク講師について

○テーマ

『講師マネジャー』 ～講師育成に長け、運営能力がある～

→子ども達にビジョナリー学習塾の指導方針に基づいて指導できるのは当たり前。子ども達だけではなく・講師間からも信頼を得ている。また、運営力があり、ある程度社員がいなくてもイベント講座や校舎運営をまわすことができる能力を持っているランク。

○期間

最短 1年半

○グレードの基準

[1]子ども達だけでなく各講師からの信頼が厚い先生

→子ども達に良い指導ができるのは当たり前。各先生からの信頼が厚く校舎の中心的人物になっていて、他の講師とチームを作って活動をする事が求められる。

[2]保護者様との接点を増やそうと自ら努力している先生

→保護者様との信頼関係をより構築できるかどうか次のグレードに上がる基準となります。自らDTSや保護者面談を社員の先生にお願いをして実施する姿勢をとっていくことが求められます。

[3]校舎運営をまわす事ができる先生

→このグレードでより校舎運営運営をまわしてもらう事が必要となります。ドカン講座の運営、通常授業時も社員がいなくても教室がまわるような運営ノウハウを理解してもらいます。

[4]初回講師研修の研修ができる先生！

→講師研修の研修ができ、高いレベルで研修ができる先生である。

○Sランクへの昇格時に受けていただく研修

・ Sランク ランクアップ研修後 レポート提出する

Bランク講師について

○テーマ

『講師育成』 ～講師育成・校舎運営ができるランク～

→このランクの特徴は生徒と社員から授業を中心に信頼を置かれている先生像であるということ。また、講師育成を担当する先生・校舎運営を行うランクとなります。常に理想の授業を行うことができている講師がこのランクとなります。この先生に任せておけば、この先生の力でなんとかしてくれるのではないか。そういった先生像がこのランクのグレードとなります。また、社員がいなくてもこの講師がいたら講師面談をまわすことができるランクです。

○期間

最短 1年

○グレードの基準

[1] 1教科以上、得意教科がありどんな子でも対応できる指導力を持っている

→この教科の指導は負けないという高い指導力を持ち合わせていて、どんな子にも対応できる力を持っている。また、勉強が苦手な子や対応が少し難しい子にも対応する力を持っていてこの先生に任せておけば大丈夫と感じられる先生像である。

[2] 3C指導を徹底して行うことができる

→3C指導を徹底して行うことができ、子ども達の改善も見られている。この3C指導に強いこだわりを持って指導ができることもこのグレードの特徴。具体的な改善提案ができている。

[3]校舎運営について学び実行することができる

→欠席連絡・Cランク以下の講師のDTS研修ができる・ドカン講座・通常授業時の運営ができる。

[4]他の先生にも積極的に話したり、校舎の雰囲気をよくしている

→校舎の雰囲気をより良くするために他の先生とのコミュニケーションをとって他の先生にも影響を与えることができる先生。

[5]Cランク以下の先生の研修・初回研修を担当する

→このグレードになったらCランク以下の講師の研修や初回研修を担当してもらう先生の基準となります。講師研修のための研修を受けてそれが出来る人になってもらう基準となります。

[6]自分の担当生徒がいない場合、自分で電話をして欠席・遅刻連絡ができる

→自分で電話をして欠席・遅刻連絡をすることができる

○Aランクへの昇格するための必須条件

・ Aランク ランクアップ研修後 レポート提出する

Cランク講師について

○テーマ

『生徒指導』 ～講師として自立して生徒指導ができる～

→このランクの特徴は講師としての基礎力を身につけている段階の先生です。基礎講師研修の内容をきちんと理解して自分のものにしている講師である必要があります。その上で自分のオリジナリティを少しずつ出していく段階でもあります。自分の個性を発揮して良い講師をより目指していきましょう。

○期間

最短 半年

○グレードの基準

[1]基礎講師研修の内容を程度理解して宿題がわかる授業ができている

→基礎講師研修の内容を理解して宿題がわかる（宿題が全て○になる）授業ができている。点の授業は自信あるという状態がこのグレード。

[2] 3C 指導で生徒の行動変容ができている

→3C指導を徹底して目の前の人を行動変容する事ができている。

[3]講師ハンドブックに載っていることを守れている

→講師ハンドブックに載っていることをきちんと守ることができていて、自分自身に責任感も高く持って行動をすることができている。

[4]他の先生にも積極的に話したり、校舎の雰囲気を良くしている

→校舎の雰囲気をより良くするために他の先生とのコミュニケーションをとっていて他の先生にも影響を与えることができている先生

[5]逆算カリキュラムを理解し、授業カリキュラムを自信を持って指導できる

→逆算カリキュラムをきちんと理解して、授業カリキュラムを自信を持って書くことができいて指導をすることができている。

[6]DTS・欠席連絡ができる

→担当生徒へのDTSと欠席連絡を行うことができる先生。

○Bランクへの昇格するための必須条件

・ Bランク ランクアップ研修後 レポート提出する

Dランク講師について

○テーマ

【守】『基礎力を身につける段階』

→このランクの特徴は講師基礎研修をきちんと理解し、実行する段階である。一人前の授業ができるように少しずつ慣れさせ、1対2の授業を1対1のクオリティーでできるようにトレーニングをしていきます。1対2が段々と良い授業ができてある程度の生徒が対応できるようにトレーニングを積んでいきましょう。

○Cランクへの昇格するための必須条件

- ・ Cランクごとのランクアップ研修を受ける

評価基準について

□基本

○社員同士で話をして一人一人評価を決めていく

→アルバイト講師の皆さんの評価は基本的に上司である社員が評価をします。主観ができる限り入らず客観的な目線で評価できるように、社員メンバーで話し合い、一人一人評価を決めていきます。

□基準

0点 → 全くできていない

1点 → 基準にはやや満たされていない状態。

2点 → 標準的に基準を満たしている状態。

3点 → 基準を満たすだけでなく、期待以上の行動ができている

4点 → 感動レベルの行動ができている。

※ 点数基準はその点数レベルまでの行動を全て満たすことができていないことが必須である。

※ [例] 3点をつけるときは2点の行動ができていることが前提です。2点の行動ができていないのに3点をつけるということはありません。

□期間

第1期の評価は4月～9月となります。第2期の評価は10月～3月となります。その期間の行動をトータルで評価させていただきます。

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

1 3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています

- ☐ 【小テスト管理】小テストで9割をこたわらせることができています。
- ☐ 【遅刻・出欠管理】遅刻は少しでも遅刻したら相手に合わせて指摘ができています。
- ☐ 【宿題管理】宿題に関して忘れた場合もそのままにせず改善を促す提案ができています。
- ☐ 【約束】3Cを破ってしまった場合、改善することを明確にして、約束を取り付けることができています。
- ☐ 【居残り提案】宿題・小テストに関しては居残り等をさせて帰らせる事ができています。
- ☐ 【意味付け】3Cを破った時に宿題や遅刻や小テストに対する意味を伝えることができています。

2 宿題・問題演習が全て○になる授業ができています

- ☐ 【宿題選び】宿題が全て○になるように適切に宿題を選び、目標から逆算した適切な量を出す事ができています。
- ☐ 【わかりやすい授業】宿題が全て○になるように授業を意識する事ができています。
- ☐ 【○にするこだわり】問題演習が全て○になるように子ども達にとってわかりやすい説明ができています。
- ☐ 【机間巡視】小まめに机間巡視をして、目視で○つけをして問題演習が○になるようにできています。
- ☐ 【端的さ】授業の説明の時間をできるだけ短くして、問題演習ができるように工夫ができています。
- ☐ 【生徒による対応】生徒により、宿題の難易度を調節して宿題を出す事ができています。

3 逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています

- ☐ 【日程の把握】定期テスト・入試等の日程をある程度把握して授業をする事ができています。
- ☐ 【逆算思考】残りの授業回数を意識して今やるべき効果的な指導ができています。
- ☐ 【逆算思考】模擬テストに最低でも2週間前までに入れるように指導をする事ができています。
- ☐ 【学校のワーク管理】学校のワークの管理等を意識して指導をする事ができています。
- ☐ 【カリキュラム作成】担当生徒の定期テストの試験範囲を予想し、逆算カリキュラムを立てて指導ができています。
- ☐ 【指導方針共有】カルテに指導方針等を書き、他の講師にもわかりやすく共有する事ができています。

4 6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています

- ☐ 【明・元・素】明るく・元気に・素直で子ども達に接する事ができています。
- ☐ 【オープンマインド】自分のGood & New等の話も共有することを大事にする事ができています。
- ☐ 【自己重要感を高める】基本的に毎授業、生徒の様子を尋ねる質問をする事ができています。
- ☐ 【自己重要感を高める】生徒の好きなこと・個性を把握して授業をする事ができています。
- ☐ 【遊び心】遊び心を持って子ども達を楽しませる授業を提供する事ができています。
- ☐ 【生徒との距離感】生徒と程よく近い関係であり、きちんと指示をしたら実行できる関係になっている。

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

5 勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができている

- ☐ 【目的・目標意識】生徒に目的・目標意識をさせる事ができて、生徒のやる気を高める事ができている
- ☐ 【家庭学習管理】生徒の家での家庭学習のことも考えて、指導をする事ができている
- ☐ 【自習指導】生徒に自習を誘ったり、学習量を増やす提案ができている。
- ☐ 【態度指導】学校の授業態度・ノート提出・学校の小テストを考えて指導する事ができている
- ☐ 【改善指導】相手のためを思って、ダメだと思ったことは伝える事ができている
- ☐ 【叱る指導】生徒に改善してほしいことがある時に伝えることができ、直らない場合は叱ることができている。

6 学校進捗を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している

- ☐ 【担当生徒の責任感意識】生徒の目標達成に向けて今、何をすべきかと考えて行動する事ができている
- ☐ 【担当生徒の責任感意識】もし都合で休む時、引き継ぐ先生に生徒の情報を共有している。
- ☐ 【赤丸指導】生徒が間違えたところ・怪しかったところに赤丸をつけてわからないところが明確になっている
- ☐ 【学校進捗チェック】学校進捗を確認して、定期テストの試験範囲を予想しながら指導する事ができている
- ☐ 【生徒の定期テストのチェック】生徒の定期テストを把握し、それに基づく指導ができている
- ☐ 【イベント提案】ドカン講座を勧めたり自習を勧めたり、生徒の目標達成に向けてできることをしている

7 生徒の自己重要感を高める関わりができている

- ☐ 【褒める指導】生徒の内面をほめることを意識してほめる事ができている
- ☐ 【褒める指導】生徒の当たり前前にできている事を褒める事ができている
- ☐ 【褒め方】生徒に、具体的にすかさず、感情を込めてほめる事ができている
- ☐ 【褒め方】生徒に褒める時に笑顔や拍手等飲身振りで表現する事ができている。
- ☐ 【生徒の個性の把握】生徒の様子を尋ねるようにして、次の授業でも覚えているなど、気遣いができている
- ☐ 【生徒の個性の把握】生徒が好きなもの・得意なことに関心を持つ事ができている

8 生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができている

- ☐ 【自信をつける指導】他信を自信に変えられるように、生徒の可能性を信じる関わりができている
- ☐ 【自信をつける指導】3つの約束（生徒・自分・時間）を意識して指導する事ができている
- ☐ 【楽しい指導】授業中に生徒を2回以上笑わせる事ができている
- ☐ 【楽しい指導】勉強や学習することの意義や意味を伝える事ができている
- ☐ 【勉強法】生徒とより良い勉強法を考えて、提案する事ができている
- ☐ 【勉強法】生徒に復習の大切さを伝えて、繰り返し行う事の重要性を伝える事ができている

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

9 1対2を1対1のクオリティーでできている

- ☐ 【授業設計】生徒のことをよく見て、適切な授業の組み立てをする事ができている。
- ☐ 【授業設計】生徒二人が授業のゴールに向かって最適な配分で生徒の指導をする事ができている
- ☐ 【授業設計】予測をして、生徒に説明する時間が被らないように授業をする事ができている。
- ☐ 【暇にならない】生徒二人が暇にならないように授業を工夫して行う事ができている。
- ☐ 【利き腕意識】勉強が少し苦手な生徒や見てあげないといけない生徒を右側[左側]に座らせている。（利き腕）
- ☐ 【指示出し】細かい指示出しを生徒に出す事ができていて、生徒がやる事がわからない状態が少ない

10 準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている

- ☐ 【時間を見る】50分・75分の授業の中で時計を小まめに見てどこで着地をするか考えて行動できている。
- ☐ 【時間を使い切る】チャイムが鳴るまで時間を使い切り、時間を無駄にする事なく授業をする事ができている
- ☐ 【授業の価値の最大化】授業がわかりやすいだけでなく、その先や家での学習等も考えて指導できている
- ☐ 【授業の価値の最大化】スキマ時間はカリキュラムを書いたり、事務を行ったり生徒や校舎のために時間を使う事ができている
- ☐ 【事前準備】授業準備でプリント等をきちんと準備していて子ども達が暇になる時間が少ない
- ☐ 【事前準備】授業準備では授業の構成を考えて、行動する事ができている。

●職務評価

1 勤務姿勢

- ☐ 0点→無断欠席・無断遅刻を期間内で2回以上、行ったことがある。
- ☐ 1点→事前に申し出がある遅刻・欠勤のルールを守れていない欠勤が合計2回以上ある。
- ☐ 2点→シフト通りに勤務している。欠勤する場合は欠勤ルールを守って欠勤できている。
- ☐ 3点→他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に参加してくれている。
- ☐ 4点→他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に積極的に参加してくれている。

2 服装・礼儀

- ☐ 0点→服装・髪型・礼儀などに乱れがあり、講師としてふさわしくない
- ☐ 1点→服装・髪型・礼儀に乱れはないが、規定に沿う配慮が不足している
- ☐ 2点→服装・髪型・礼儀の基準において、2つ以上は基準を超えている
- ☐ 3点→服装・髪型・礼儀の基準において全て基準を超えている
- ☐ 4点→服装・髪型・礼儀の基準において全て問題なく、他の模範となる事ができている。

※服装・髪型・礼儀の基準に関しては写真を基に判断をしていただければと思います。

身だしなみチェックポイント

頭髪

- ・ 黒、茶色を基調とする
- ・ 金髪、派手な色（青やピンク等）派手な巻き髪、変形カットはNG

シャツ・ブラウス

- ・ 基本はスーツ着用
- ・ セミフォーマル可ですが襟付きのシャツやブラウスを着用し、Tシャツ、パーカー、カジュアルなワンピースなどはNG

スカート・パンツ

- ・ 基本はスーツ着用
- ・ セミフォーマル可ですがジーンズや奇抜なスカートなどはNG



【NGな服装】

- ・ 私服感の強いワンピースやトップス
- ・ 柄物のワンピース
- ・ シャツは着用しているがジーパンはNG



評価基準について

身だしなみチェックポイント

シャツ・ネクタイ

- ・基本はスーツ、襟付きのシャツを着用。
- ・セミフォーマルも可

パンツ

- ・基本はスーツ着用
(ジーパンはNG)
- ・ベルトを着用するなどして、腰パンにならないようにする

靴

- ・基本は革靴
- ・スニーカーの場合は、ロゴや色が派手ではないものなら可



保護者様が来て先生のことを良い印象を持ってくれるかどうか大切です！

相手の立場に立って清潔感のある爽やかな身だしなみを心がけましょう！

●礼儀について

礼儀については社会人になってから非常に大事な作法となります。きちんとここで礼儀を身につけて社会人になった時に最低限のマナーを押さえられるようにしていきましょう。

[1]接客七大用語を覚える

接客七大用語は大変便利な言葉なので全て覚えて、使えるようにする。

- ①いらっしゃいませ（おはようございます、こんにちは）
- ②かしこまりました。
- ③恐れ入りますが
- ④少しお待ちくださいませ
- ⑤大変お待たせいたしました
- ⑥申し訳ございません。
- ⑦ありがとうございました。

※「了解」とは、本来「事情を理解し、認めること」という意味です。そこから、目上の人が目下の人に許可を与える時に使う言葉になりました。したがって、目上の人や社外の人に使うのは失礼にあたります。

※「ごめんなさい」は、丁寧なニュアンスが含まれている言葉ではあるものの、命令表現の言葉です。そのため、ビジネスシーンでは用いず、家族や友人など気の知れた間柄でのみ使う方が好ましいです。

[2]ご飯を奢ってもらった時

ご飯を奢ってもらった時は直接奢ってもらった人に3回感謝を伝えましょう。奢ってもらった直後、帰宅後のメールやライン、次回会った時にお礼をするのが常識です。また、企画してくれた人にも感謝を伝えるとより良いと思います。

[3]自分のことは「ぼく」「オレ」ではなく「わたし」「わたくし」

「私（わたし）」は「私（わたくし）」より、少しカジュアルなイメージになる一人称です。会議などのきちんとした場面ではもちろんのこと、取引先との食事の場で使っていてもおかしくありません。かしこまりすぎず、とても使いやすい一人称です。

[4]避けたい態度について

- 足組み
- 返事をしない。

→相手に対する印象が悪くなります。印象を悪くしないように意識しましょう。

[5]レスポンスについて

レスポンスは早いほどビジネスでは信頼を掴むことができます。最低でも上司からの連絡に関しては24時間以内には返すことを意識していきましょう。

●職務評価

3 挨拶

- ☐ 0点→自ら全く挨拶していない。
- ☐ 1点→自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をするときとしないときがある。
- ☐ 2点→自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をしている。
- ☐ 3点→生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から挨拶している。
(明るい声・明るい表情・相手の目を見る2つ以上できている。)
- ☐ 4点→生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から挨拶している。
(明るい声・明るい表情・相手の目を見る3つできている。)

※補足

- ✓ 生徒が入ってきたら原則、挨拶をするようにしよう。
- ✓ 保護者様が入ってきたら目を合わせて座ったままで良いので礼をして挨拶をするようにしよう。
- ✓ 講師には休憩時間・隙間時間等に挨拶をしましょう。授業中は入室時だけで大丈夫です。
- ✓ 塾に入室時は『こんにちは』と挨拶をして入室しましょう。
塾を退出時は『お疲れ様でした』と挨拶をして退出しましょう。

4 環境整備

- ☐ 0点→自分が使った場所を綺麗にする事ができていない。
- ☐ 1点→自分が使った場所等、最小限の環境整備しかできていない。
- ☐ 2点→自分が使った場所以外にも環境整備に取り組む事ができている。
- ☐ 3点→積極的にゴミを拾ったりゴミ箱を変えたり、教室環境を良くしようと努力できている。
- ☐ 4点→教室環境を良くしようと率先して行動し、他の講師を巻き込み、より良い教室空間を実現している。

5 生徒対応

- ☐ 0点→生徒優先の姿勢がなく、生徒とコミュニケーションをとっていない
- ☐ 1点→生徒とコミュニケーションをとっているが距離感が近すぎてあまり指示を聞いてくれない事がある。
- ☐ 2点→生徒へのコミュニケーションに問題がなく、生徒からの不満の声もあまりない。
- ☐ 3点→難しい生徒の対応も努力して対応できていて、生徒たちから信頼されていて評判が良い
- ☐ 4点→どんな子でも対応できるコミュニケーションがとれ、信頼が厚く他の講師の模範となる

●職務評価

6 教室貢献

- ☐ 0点→決まった仕事の実行できないことが多く、生徒情報を全く報告できていない
- ☐ 1点→決まった仕事の実行できないことがあり、生徒情報もあまり報告できていない
- ☐ 2点→決まった仕事をしっかり実行し、生徒情報も適切に報告できている
- ☐ 3点→決まった仕事以外も教室の手伝いをし、事務など社員に何かできる事をないか聞いて行動できている。
- ☐ 4点→決まった仕事以外も意欲的に事務や校門前配布等の教室の手伝いができている。

必ず生徒情報を社員に報告し、生徒・保護者から名前が挙がる講師になっている。

●情意考課評価

①【感動追求】 生徒の成績を高めるために何ができるかを常に考え、 生徒に予想外価値を提供して、感動を追求する

塾としての役割である**成績を上げること・志望校合格に導くこと**は我々に取って**当たり前**です。当たり前の価値の基準を高めていき、子ども達の成績をまずは上げていきましょう。そして、**生徒や保護者様に『ここまでしてくれるんですね』**と思ってもらえるようさまざまな価値を与えていきましょう！**感動とは驚きと喜び**です。手厚く**予想外の価値を提供してお客様を感動させるサービス**を提供していくことを意識して、**生徒の恩師（結婚式に呼びたくなる先生）**となりましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→ただこなすだけの仕事をしている。
- ☐ 1点→生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルをあまり意識できていない。
- ☐ 2点→生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルを考えて指導し、成績を高められている
- ☐ 3点→生徒の成績を上げるために何ができるか考えるだけでなく、生徒に付加価値を与えることができている。
- ☐ 4点→生徒の成績を上げるだけでなく生徒の長期的な未来を見据えて何が必要か考えて指導をする事ができている。

②【情熱】 生徒に情熱を注ぎ、絶対に目標達成に導くという信念を持って行動している

生徒に**自分自身の思い**をきちんと伝えてこうなっていこうという**ビジョンを見せること**が大事です。生徒にどうなりたいか聞くのは非常に大事ですが、我々の情熱で**生徒をここに引っ張っていくという姿勢がある先生**は信頼感が増していきます。また、そのためには生徒が成績を上げるために**何をすべきかという答え**を知っていて、そこに**効果的に導くという姿勢**が重要になります。それをきちんと実行していけば、その情熱はたくさんの人に**伝播**していきます。自分の生徒に対する情熱を、**他の先生**にも伝播していけるよう行動していくと、自分だけでなくチームで生徒に情熱を注ぐことができます。

<評価基準>

- ☐ 0点→室長先生から言われたことができていない。
- ☐ 1点→最低限、室長先生から言われたことを行い、生徒指導をしている。
- ☐ 2点→室長先生に言われたことと自分で考えて子どもたちのために何が必要かを考えて行動することができている
- ☐ 3点→生徒に自分の想いを伝えて、本気で目の前の人を良くしていこうと努力している。
- ☐ 4点→自分の生徒に対する情熱が生徒に伝わり、生徒が具体的に行動が変わっている。

③【感謝】 4つの感謝（生徒・保護者・講師・環境）に感謝して行動している

生徒がいるから我々は授業をすることができます。**保護者様**が大事なお子様に投資して塾にお金を払ってくれるからお給料をもらうことができます。他の講師の先生がいるから**生徒の様々なニーズ**に対応することができます。この校舎や**働く環境**があるから働くことができます。様々なことに感謝をして行動をしていきましょう。感謝の気持ちは見えないパワーですが大きなパワーとなります。感謝を**具体的な行動**で完結していきましょう。感謝の力を育て、豊かな人になり、子供たちを幸せにしていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→感謝を全く伝えていない。
- ☐ 1点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを1つ以上実践できている。
- ☐ 2点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを2つ以上実践できている。
- ☐ 3点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを3つ以上実践できている。
- ☐ 4点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを全て実践できている。

④【規律】 講師ハンドブックに載っているルールを基にした行動ができている

自由とは**ルールがあるからこそ自由を得ることができます**。ルールがない場所では人間は自由を得ることは困難です。塾で働く人が全て**良い気持ちになれるよう**規律を徹底していきましょう。社会人になると少しの遅刻でもアウトです。最低限の当たり前の行動ができない人は社会で活躍することはできません。きちんと講師ハンドブックをよく読み、**規律**を徹底した人になって社会で活躍できる人財になっていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→講師ハンドブックに載っているルールを破っていることが何度もある。
- ☐ 1点→講師ハンドブックに載っているルールを少し守れていないことがある。
- ☐ 2点→講師ハンドブックに載っているルールを半年で1回守れていない事があるが、概ね守れている
- ☐ 3点→講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、行動することができる。
- ☐ 4点→講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、他の講師にも影響を与えることができる。

⑤【成長】 働く目的が明確で自分自身の成長をするために環境を活用している

なぜ、**ビジョナリー学習塾で働いているか**。子ども達にどうなってもらいたくて働いているのか。この**目的意識**を常に持ち続けていきましょう。そして、**自分自身がどのように成長していきたいか**というビジョンを持って働いていきましょう。この目的が**明確であればあるほど働く意義も明確になります**。そして、塾で行う勉強会・研修等に積極的に参加していきましょう。その情報や知識があなたの人生を支える基盤になるかもしれません。

- ☐ 0点→働く目的が明確ではなく、自分自身を成長させることを考えていない。
- ☐ 1点→働く目的が少し明確であり、自分自身の成長を少し考えて行動している。
- ☐ 2点→働く目的が明確で塾で行う研修にも参加して自身の成長に向けて努力している
- ☐ 3点→働く目的が明確で塾で行う研修にも基本参加していて、成長を掴むことができる。
- ☐ 4点→自分だけでなく他の講師の成長を促す関わりができている。

⑥【共創】 講師同士のコミュニケーションを大事にして協力して生徒の目標を目指している

講師・社員との**コミュニケーション**を大事にいきましょう。生徒を一人で良い方向に導くのは簡単ではありません。社員の先生にきちんと方針を確認したり、わからないことがあったら**聞くこと**を意識していきましょう。先生方と**連携**をとって、**この子を良くしていきましょう**という声掛けが飛び交うコミュニケーションを是非意識していきましょう。そして、その連携により自分の授業の改善や生徒への接し方を具体的に变えていき、生徒の目標達成に導いていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→講師同士で全くコミュニケーションが取れていない。
- ☐ 1点→特定の講師とだけコミュニケーションを取っている。
- ☐ 2点→他の講師と積極的に話すように心がけていて行動することができる。
- ☐ 3点→校舎や生徒の目標達成に向けて、講師同士で情報共有ができている
- ☐ 4点→校舎や生徒の目標達成に向けて、何ができるかを考えて感じたことを発信することができる。

職務評価表

ビジョナリー学習塾

1～4の実線太枠内を記入し、所属校舎の教室長まで提出してください。

※ は社員使用欄

1. 講師名

※所属校舎に○（複数可）
西新宿校 ・ 方南町校

2. 授業評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています（約束・居残り・意味付け）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
宿題・問題演習が全て○になる授業ができています（宿題の量・机間巡視・わかりやすさ）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています（逆算思考・ワーク管理）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています（明・元・素）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができています（自習提案・目標設定）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
学校進度を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
生徒の自己重要感を高める関わりができています（褒める・褒め方・個性の把握）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができています	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
1対2の授業を1対1のクオリティーでできています（短くわかりやすく・授業設計）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている（時間意識）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		

授業評価合計点数

点 /40点満点

決定①

点

3. 職務評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
勤務姿勢 ※遅刻は授業開始10分前に校舎に到着しているかどうかとなります。	無断欠席・無断遅刻を期間内で2回以上、行ったことがある。	事前に申し出がある遅刻・欠勤のルールを守れていない欠勤が合計2回以上ある。	シフト通りに勤務している。欠勤する場合は欠勤ルールを守って欠勤できている。	他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に参加してくれている。	他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に積極的に参加してくれている。		
服装・礼儀	服装・髪型・礼儀などに乱れがあり、講師としてふさわしくない	服装・髪型・礼儀に乱れはないが、規定に沿う配慮が不足している	服装・髪型・礼儀の基準において、2つ以上は基準を超えている	服装・髪型・礼儀の基準において全て基準を超えている。	服装・髪型・礼儀の基準において全て問題なく、他の模範となることのできている。		
挨拶	自ら全く挨拶していない。	自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をするときとしないときがある。	自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をしている。	生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から明るい声・表情・相手の目を見る2つ以上で挨拶できている。	生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から明るい声・表情・相手の目を見るの3つ全てで挨拶できている。		
環境整備	自分が使った場所を綺麗にする事ができていない。	自分が使った場所等、最小限の環境整備しかできていない。	自分が使った場所以外にも環境整備に取り組む事ができている。	積極的にゴミを拾ったりゴミ箱を変えたり、教室環境を良くしようと努力できている。	教室環境を良くしようと率先して行動し、他の講師を巻き込み、より良い教室空間を実現している。		
生徒対応	生徒優先の姿勢がなく、生徒とコミュニケーションをとっていない	生徒とコミュニケーションをとっているが距離感が近すぎてあまり指示を聞いてくれない事がある。	生徒へのコミュニケーションに問題がなく、生徒からの不満の声もあまりない。	難しい生徒の対応も努力してできていて、生徒たちから信頼されていて評判が良い。	どんな子でも対応できるコミュニケーションがとれ、信頼が厚く他の講師の模範となる		
教室貢献	決まった仕事が行えないことが多く、生徒情報を報告できていない	決まった仕事が行えないことがあり、生徒情報もあまり報告できていない	決まった仕事をしっかり実行し、生徒情報も適切に報告できている	決まった仕事以外にも教室の手伝いをし、事務など社員に何かできる事をないか聞いて行動できている。	決まった仕事以外にも意欲的に事務や校門前配布等の教室の手伝いができている。		

職務評価合計点数

点 /24点満点

決定②

点

評価基準について

4. 情意考課評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
『感動追求』 生徒の求めているものを提供し、 予想外価値を提供し、感動を追求する	ただこなすだけの仕事をしている	生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルをあまり意識できていない。	生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルを考えて指導し、成績を高められている	生徒の成績を上げるために何ができるか考えるだけでなく、生徒に付加価値を与えることができている。	生徒の成績を上げるだけでなく生徒の長期的な未来を見据えて何が必要か考えて指導をする事ができている。		
『情熱』 生徒に情熱を注ぎ、絶対に目標達成に導くという信念を持って行動している	室長先生から言われたことができていない。	最低限、室長先生から言われたことを行い、生徒指導をしている。	室長先生に言われたことと自分で考えて子どもたちのために何が必要かを考えて行動することができている	生徒に自分の想いを伝えて、本気で目の前の人を良くしていこうと努力している。	自分の生徒に対する情熱が生徒に伝わり、生徒が具体的に行動が変わっている。		
『感謝』 4つの感謝（生徒・保護者・講師・環境）に感謝して行動している	感謝を全く伝えていない。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを1つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを2つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを3つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを全て実践できている。		
『規律』 講師ハンドブックに載っているルールを基にした行動ができている	講師ハンドブックに載っているルールを破っていることが何度もある。	講師ハンドブックに載っているルールを少し守れないことがある。	講師ハンドブックに載っているルールを半年で1回守れていない事があるが、概ね守れている	講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、行動することができている。	講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、他の講師にも影響を与えることができている		
『成長』 働く目的が明確で自分自身の成長をするためにこの環境を活用している。	働く目的が明確ではなく、自分自身を成長させることを考えていない。	働く目的が少し明確であり、自分自身の成長を少し考えて行動している。	働く目的が明確で塾で行う研修にも参加して自身の成長に向けて努力している。	働く目的が明確で塾で行う研修にも基本参加していて、成長を掴むことができている。	自分だけでなく他の講師の成長を促す関わりができている。		
『共創』 講師同士のコミュニケーションを大事にして協力して生徒の目標を目指している。	講師同士で全くコミュニケーションが取れていない。	特定の講師とだけコミュニケーションを取っている。	他の講師と積極的に話すように心がけていて行動することができている。	校舎や生徒の目標達成に向けて、講師同士で情報共有ができている。	校舎や生徒の目標達成に向けて、何ができるかを考えて感じたことを発信することができている。		

情意考課評価合計点数

/24点満点

決定③

点

5. 考課者チェック

第一次考課者 氏名	第二次考課者 氏名	塾長承認

管理
チェック

決定①+②+③= 点
時給 円

評価	S	A	B	C	D	今回のランク
点数	79/88	70/88	62/88	53/88	53未満	

＜将来の夢・やりたいことを書いてください＞

＜どんな大学生活を送っていきたいですか？＞

＜ビジョナリー学習塾でなぜ働いていますか？＞

＜どんな先生になりたいですか？＞

＜塾で成長したいことを5つ挙げてください＞

①

②

③

④

⑤

＜この半年間の塾でのテーマ・目標を書いてください＞

①働く目的・自分自身の成長テーマ

②今日のテーマ (例)宿題撲滅。宿題が○になる授業。1対2を1対1クオリティー。

③3Cチェック

宿題
／

出欠
／

小テスト
／

<授業の振り返り>

振り返り項目	2点	4点	6点	8点	10点	点数
①10分前に校舎に来て良い準備がをすることができた (事前に①・②の記入・配布プリントの準備・カルテ記入・共有もらう)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
②3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています (宿題・小テスト・遅刻・居残り・約束・意味付け)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
③宿題・問題演習が全て○になる授業を提供した (適切な量の宿題・わかりやすさ・机間巡視・端的さ)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
④逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています (最短距離の逆算思考・テスト日程把握・ワーク管理・カリキュラム)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑤6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています (明・元・素・オープンマインド・個性の把握・遊び心・生徒との距離感)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑥勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができています (目的・目標意識・家庭学習管理・自習管理・態度指導・改善指導・叱る指導)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑦学校進度を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している (担当生徒意識・赤丸指導・学校進度チェック・イベント提案)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑧生徒の自己重要感を高める関わりができています (褒める指導・褒め方・生徒の個性の把握)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑨生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができています (自信を高める指導・楽しい授業・勉強法の提案)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑩1対2の授業を1対1のクオリティーレベルでできた (授業設計・暇にならない・利き腕意識・指示出し)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
11 準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている (時間を見る・時間の価値の最大化・事前準備)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	

ずばり今日の授業は

／110点

点

<良かったところ・今日の授業をもう一度やり直すとしたら>

<良かったこと>

<今日の授業をもう一度やり直すとしたら>

明・元・素 (明るく元気で素直)

先生たちは子どもたちに元気を与える存在でありたい。いつも明るく元気。朝希望に起きて、昼努力に生き、夜感謝で寝るような大人を見せたい。子どもに接する大人は元気であるべき。大人が楽しそうにしていると、子どもが未来に希望を感じる。大人がつまらなさそうにしていると、子どもは大人がつまらなさそうと未来に希望を感じない。

理想の講師像の明確化

WHATとHOW (何をどのように) は誰が教えても同じ。良い講師は、土台にWHYやBeingがありそれを常に考え指導している。なぜ、生徒に教えているか、勉強を通してどんな力を身につけてほしいか、生徒をどのように育てたいか、自分は先生としてどうありたいか、そして生徒にどうあってほしいかを考えて指導すると熱い想いが伝わり、子供達の心のコップが上向きになっていく。

オープンマインド

目的はジョハリの窓の明るい部分を増やすことと生徒と講師の心のギャップを埋めていくこと→ラポール形成。そのために意識することは2つ。

①コミュニケーション回数

50分1回コミュニケーションをとるなら、5分10回のほうがラポールを気付きやすい。我々は授業外コミュにケーションを大切にし、休み時間の5分を大切に子どもたちとコミュニケーションをとる。

②80:20の法則

初めての場所に来た時、また普段話さない人に会った時緊張するもの。常におちから心を開き積極的に80対20の80のエネルギーの気持ちで元気よく前向きに接する。50出した時に50帰ってくると講師が期待するとつらくなる。常に80出して20帰ってくればラッキーと思っていると、相手の反応が最初は20でも次に30、さらに50、そして80へとどんどん変わっていく。

自己重要感を高める

目的は子どもたちのセルフエスティームを高めること。そして自分の能力を信じる力 = 自信をつけてもらうこと。普段、思春期の子どもたちは日本の教育の中だと7割以上マイナスのストロークを受けている。どんどん自信がなくなる教育。特に成績のあまりよくない子は成績のことでもネガティブなことを言われるので、どんどん自己重要感が下がっていく。だからこそ、我々はプラスのストローク8割の環境にする。子供達の存在承認を行い、いい意味で教室にその子の居場所をつくる。

遊び心

同じ教えるでも、楽しい方が学習効果は高い。授業導入、授業の教え方に工夫ができるあそび心を常に先生が持ち、子どもたちに勉強が楽しいと思ってもらえる授業構成を考える。授業が楽しくて先生が好きになってもらうことが大切。先生を好きになれば、その教科が好きになる。好きになると、自らやるようになる。自らやるようになるとその教科が得意になる。

生徒との距離感

遠い存在でもダメ、友達でもダメ、生徒との程よい距離感が大事。程よいとはメリハリがしっかりあるところ。授業外は徹底的にコミュニケーションをとり、親戚のお兄ちゃんやお姉ちゃんのような感じで接し、その子のことを親身に考え、勉強以外でもなんでも悩み事や相談を聞けるような関係。

ただ、授業になるとしっかりメリハリをつけ、宿題や小テストや遅刻欠席などの、人と人との「約束」に対しては、その子の将来を考え厳しく指導する。

1 理想の授業とは？

『生徒から愛され、目標達成に導ける授業』

生徒から愛される人になること。この先生の授業もっと受けたいと思われるような人物像を目指していき、尚かつ目標達成に導くことができる授業であれば最高です。この授業を目指し常に自分自身を磨いていきましょう。

『宿題が解ける授業』

→宿題が全て○がついている授業が一回の授業のゴールです。毎回の宿題が全て○になっているかどうか。ここにこだわりを常に持って授業をしていきましょう。

2 ビジヨナリー学習塾の授業の目的

①自信を与えるため

→学習を通して少しでも自分に対する自信を高めてほしい。目標達成することや自分との約束を守ることを通して自分に対する自信を高めていくことが目的です。

②学ぶ楽しさを伝えるため

→勉強の楽しさを伝えていきましょう。学ぶという行為が夢を叶えるために間違いなく必要な力です。学んで何かができるようになる喜びや楽しさを授業を通して伝えていきましょう。

<ポイント>

①説明をいかに短くして問題演習で○がつける授業にするかが大事である

②子どもの内面的な部分を必ず一つは褒める

③勉強が苦手な子は問題演習を先に説明しながら教えて解き直しをさせて自信をつける

④人は1日で約74%忘れる。そのため何度も復習することが大事

3 授業の流れ

挨拶→導入→宿題の確認→小テスト→学校進度の確認→授業目標の確認→授業
→(類題演習)→問題演習→宿題出し→挨拶

<ポイント>

①導入では心をつかむことが大事である

②宿題から逆算して授業準備を設計する。

③学校進度より遅れている場合は学校進度に合わせて授業を進める

(学校の授業がわかるようにする)

1. カリキュラム (公立学校)

①指導方針

子どもたちに楽しんでもらうこと・自信を持ってもらうことを第一とする。意欲的に通塾してもらいながら、勉強の習慣化を目指すことを目標にする。小学生教育は楽しくてわかるを特に追求していく授業を追求していきましょう。

②各教科方針

[1] 算数

①ほーぷBook

学校の教科書に沿ってほーぷを進めていきましょう。学校の教科書で次に習う単元をよく見ていきましょう。学校の教科書とほーぷがあまり連動していないケースは学校の教科書主体で授業をすることもお勧めです。きちんと学校の授業が『わかる』という状態を作っていくことを意識していきましょう。

②ほーぷドリル

基本的にはBookを進めていく上で『宿題』として使っていくようにしましょう。しかし、Bookを使っているにもかかわらず問題演習をさせたいと思うときは授業中に問題演習として使っていくこともあります。原則、ホープドリルが解ける授業になっているか。ここを意識した授業を意識していきましょう。

③ほーぷテスト

ほーぷでBook・ドリルが終わり単元が終わった時にほーぷのテストを行いきましょう。繰り返しできるようにコピーして渡すのがお勧めです。ホープテストを100点が取れるように繰り返しやらせていきましょう。

④蔭山式プリント

学校のテストに近い、蔭山式プリントを必ずテスト前に行いましょう。このプリントをきちんと満点取れる状態を作り、学校のテストに臨めるように意識していきましょう。もし、②③ができていなくても一番優先順位を高くして行うのはこの蔭山式プリントとなっています。このプリントを本番とリハーサルができる状態を作ってテストに挑めるように準備をしていきましょう。

1. カリキュラム (公立学校)

[2]国語

<教科書読解型>

1 教科書漢字ワーク 目安：50分授業の場合：10分以内 75分授業の場合：20分以内

教科書漢字ワークできちんと教科書に沿って漢字を進めていきましょう。教科書の漢字は読解と異なる部分を行うこともあるため、きちんと 学校進度の確認 を大事にすること。学校の漢字テストがいつあるのかをきちんと確認して授業を行うことを意識していきましょう。

<授業の進め方>

①漢字の『読み』を言わせよう

書くと時間がなくなってしまう、『書き』の演習ができなくなってしまう。

一度、本人に言わせてみて言えなかったところに赤マルをつけましょう。そして、赤丸をつけた場所のみ暗記をしていき、もう一度全ての読みを聞きましょう。全くわからなさそうだったら こだま法 を使って一緒に覚えさせていくのがオススメです。

②漢字の『書き』を書かせよう

一度、書かせてみてできなかったところに赤マルをつけましょう。そして、赤丸をつけた場所のみ暗記をしていき、もう一度全ての書きを行いましょう。あまり手が進まない場合は、5個ずつ1分で覚えるなど 1分学習法 を使って暗記に導いていくのがオススメです。

2 学校の教科書

学校の教科書で学校の単元の予習をしましょう。教科書ワークに入る前に教科書を読むことで文章の全体像を掴むことができます。

<授業の進め方>

①2ページずつ (個人差ある) を時間を測って読ませましょう (黙読)

読んでもらったら必ず『どんな話だった?』という会話をして内容を理解しているか問う質問をしましょう。ここで内容が理解できていない場合は、内容理解を促せる質問をしていきましょう。例えば登場人物、この段落ではどんなことが伝えたいか、このときの心情はどうか。内容理解を促す発問をして教科書の本文の理解を促します。その流れで最後のページまで読んでもらいます。

1. カリキュラム (公立学校)

[2]国語

<教科書読解型>

3 教科書ワーク

教科書ワークは 原則、漢字以外を行いましょう。漢字は漢字ワークでやっているのものでそれ以外の項目を指導していきましょう。教科書で読んだ読解文を実際に問題を解き、実際にできるかどうか確認をしていきます。

<授業の進め方>

①教科書ワークで『内容読解』を中心に行う

→教科書で読んだところまで内容読解をやってもらうこともあります。

4 教科書ピッタリワーク

教科書ワークの補助や宿題用としてこの教科書ピッタリワークを出していきましょう。より、その単元の理解が深まります。

<読解力向上>

①ほーぷ

ほーぷは読解力向上のために使うテキストです。主に教科書の国語がよくできている場合は『ほーぷ』を使い、読解力を高めるためのトレーニングをしていきましょう。

[3]英語

1 必修テキスト

基本的には中学校1年生の予習を進めていきましょう。中学校の準拠教材を調べてその内容の最初から進めていきましょう。最初は英単語を覚えるのが大変なのできちんと英単語は本人と話し合いながら一歩ずつ向き合っていきましょう。

2 Iワークドリル

教科書の英単語がわかる教材です。毎回、単語テストをこのIワークドリルを使って行っていましょう。

2. オーダーメイドコース

① 指導方針

私立生：学校の先取りを行い、適宜、学校の課題プリントや宿題フォローをしていく。

中学受験生：小学校4年生から開始するのが望ましい。

②教材について

各レベルや目標校を見て最適な教材を提案していく。志望校から逆算してベストな教材は何か。ここを考えて提案をしていく。

<私立志望について>

1 算数

- 通年教材 予習シリーズ > 新演習（推奨） > 新小学問題集（難易度順）
- ベストチェック → 解説は少ないが基礎の総チェックができる教材。
- でる順 算数計算 → 主に小テスト等で使用できる計算教材。
- でる順 文章題 → 苦手な特殊算を潰すことができる教材。
- でる順 図形 → 受験で出てくる図形を演習することができる教材。

2 国語

- 通年教材 読解の完成 > 読解の応用 > 読解の基礎
- 小学漢字1026が5時間で覚えられる問題集
- 「中学受験」漢字1580が7時間で覚えられる問題集 [さかもと式]見るだけ暗記法
- 中学入試 でる順過去問 漢字

3 理科

- 通年教材 予習シリーズ > 新演習（推奨） > 新小学問題集（難易度順）
- ベストチェック → 解説は少ないが基礎の総チェックができる教材。
- でる順シリーズ

4 社会

- 通年教材 予習シリーズ > 新演習（推奨） > 新小学問題集（難易度順）
- ベストチェック → 解説は少ないが基礎の総チェックができる教材。
- でる順シリーズ

★公立中高一貫校志望

<教材について>

- 通年教材 新演習
- 銀本、赤本

③ 模試<小5の初めより提案していく>

- 首都圏模試は小5は最低3回。小6は全6回受験が目安。

1.高校受験指導（カリキュラム）

①指導方針

高校受験・定期試験対策を通して、自立の型を身につけてもらう。

また、学習を通して夢や目標を見つけ自信をつけてもらうよう、セルフマネジメントを軸とした指導を行う。

②指導形態

1：2 個別指導と少人数指導

③通常授業使用教材

国語 必修テキスト＋学校の漢字ワーク

数学 Iワーク＋中学問題集 発展編（レベルが高い生徒のみ）

英語 必修テキスト＋Iワーク＋読解ABC＋フォレスト英単語（中2以上）

理科 オリジナル教材＋ウィニング＋ウィニングノート

社会 ウィニング・ウィニングノート

④定期テスト

約3週間前からスタートする。子どもたちの能力、受講コマ数に応じて前後しても良い。

①試験対策期間は、試験範囲表が出たかどうか常に声をかけ、持参するように指示する。

②学校ワークは、遅くとも3週間前には範囲の予想をし、試験1週間前に終わるように計画をする。それを授業カルテに記入し、進捗状況を確認する。

③過去問をコピーして秘マークをつけて生徒に渡す。必ず室長の最終確認を得て配布を行う。生徒には、学校に持っていないように約束させる。

④試験期間中の授業は、翌日の試験科目の学習になるように授業日程を調整する。

⑤試験後は、各学校からテストを回収し、スキャンする。問題用紙、解答用紙、模範解答がセットになっているかを確認し、全科目揃った状態で回収する。ただし、テスト後の反省・振り返りなどを提出させる学校もあるため、それらが終わっているか確認をする

⑥各生徒からは、定期テストの点数をグーグルフォームに入力をしてもらう。

⑦テストが返却された後の授業は、振り返りノートを記入する。次回の試験に向けて非常に大切な行動のため、授業時間を割いてでも行う。

⑧80点以上の科目がある生徒には「喜びの声」を書いてもらう。これは持ち帰り可とし、過去の例を示しながら、カラーで丁寧に書くように指示する。

1.高校受験指導（カリキュラム）

⑤各教科指導方針

[1]国語

< 定期試験対策 >

①教科書を読む

学校の教科書で学校の単元の予習をしましょう。必修テキストに入る前に教科書を読むことで文章の全体像を掴むことができます。

< 教科書の使い方 >

【物語・説明文の場合】

①2ページずつ（個人差ある）を時間を測って読ませましょう（黙読）

→読んでもらったら必ず『どんな話だった？』という会話をして内容を理解しているか問う質問をしましょう。ここで内容が理解できていない場合は、内容理解を促せる質問をしていきましょう。例えば登場人物、この段落ではどんなことが伝えたいか、このときの心情はどうか。内容理解を促す発問をして教科書の本文の理解を促します。その流れで最後のページまで読んでもらいます。

②内容を理解してもらったら教科書のコピーに重要な所に線を引いて書かせよう。

→教科書をコピーしたものを渡します。必修テキスト・新ワーク・Iワーク・Keyワークなどあらゆるワークに載っている問題をあらかじめ目を通しておき、問題で問われやすいポイントを指示出しをして教科書に赤で書かせます。そうすると、教科書の理解も深まり、問題も解けるようになります。

【詩・短歌・古文・短文の場合】

①最初から赤ペンを生徒に持ってもらい、解説からスタートしよう

→このジャンルの問題はほとんどが暗記に近いです。きちんと内容を理解してもらえるようにポイントを解説をしていき、教科書のコピーに赤ペンで書き込んでいきましょう。まずは内容理解を促すこと。

②教科書の内容を発問する

→一通り解説が終わったら本人に覚えてもらったり暗記する時間を作って、発問をするようにしましょう。きちんと内容が理解できているかどうかを発問を通じて確認していきましょう。

② 必修テキスト・新ワーク・Keyワーク・Iワークのコピープリントを渡し、
そのプリントを2周できるように授業を進めていく。

→必修テキストだけでも良いですがそれだけだと問題数が足りないなのでその他のワークでもコピーをして内容理解を促せるように問題を解いてもらいます。解き直しも含めて2周できるように事前にホチキス留めコピーをしておきましょう。

③【漢字】の小テストを毎回の授業で実施しよう

→学校の漢字ワークをきちんと管理して毎回小テストを行うことが大事です。漢字はおよそ20点前後定期試験に出ることが多いです。確実に点を取ってもらえるようにサポートしていくことが非常に大事です。学校の漢字ワークが使えれば使い、なければ教材として漢字ワークは買ってもらいテストをすることを意識していきましょう。

④【文法】も試験範囲を確認しながら進めていきましょう

→文法の対策も学校の問題集を使って効果的に進めていきましょう。

< 補助教材 >

○教材

(読解編) 新中学問題集 標準編・発展編 / マイクリア / 都トレ / 必勝都立国語 / V模擬過去問

(漢字編) 漢字ガイド / 都トレの最初のページ

(古典編) 中学まとめノート 古文:書き込むだけで得点UP!

中学 まとめ上手 古文単語: ポイントだけをサクッと復習

(国文法編) 中学まとめノート 国文法:書き込むだけで得点UP! (受験研究社)

< 都立高校入試対策 >

(STEP1) 読解の読み方をマイクリア・新中学問題集で教える。漢字は毎回小テスト。

(STEP2) 都トレ・必勝シリーズで都立入試向けの演習する

(STEP3) V模擬の過去問演習をする

(STEP4) 弱点を時間を測って解く訓練をする

○小説文のおすすめの読み方

①冒頭の文章は必ずきちんと読む。

→本文に向かう前の冒頭部は今後の人間関係をきちんと表していることが多いのでここは読み進めずきちんと読み切って、次の段落に進んでいく。

②心情を3つに分けて考える

心情を問われる問題が多いので、その人がプラスの気持ちなのか・マイナスの気持ちなのか・どちらでもないのかで都立入試は選択肢を切ることができることが多いです。

③登場人物の関係性を特に追う

→登場人物の関係性は特に注意して追っていく。

○論説文の読み方

①段落ごとに何を伝えたいかを考えさせる

→論説文の場合、段落ごとに伝えたいことが一つあります。その段落では何を伝えていきたいのか。そこをきちんと考えて論説文を読ませていくことが大事です。

②接続詞・指示語に注意して読む

→接続詞の中でも順接・逆説とは何かを伝えて文と文の前後関係を意識させる。指示語が何を指しているのかも読み取りながら読むことを教える。

③起承転結を意識させる

→論説文の筆者の目的は主題に対しての説得力のある文章を書くのが目的です。そのために例を使ったり、時には逆説を使用したりします。そういった起承転結の文構造を伝えていけると次どんな話に来るかなんとなくわかるようになります。この起承転結の意識を伝えていきましょう。

④最後の段落に書いてあることが結論であり筆者の主張であることが多い。

これが200字作文につながってくることも多いのできちんと把握しましょう。

○古典的読解の読み方

①俳句とか詩があったら読み飛ばさない

→俳句とか詩はきちんとその時の状況を思い浮かべながら話を聞くとその後の説明の文章が頭の中に入ってきやすくなります。きちんと情景を思い浮かべながら俳句や詩を聞くと良いです。

②前提として古典だから難しいという先入観を捨て、説明文だと思って読み解かせる！

→現代文であり前の文章の読み方と特に変化はありません。難しいという先入観を捨ててい供養に指導しましょう。俳句、古文、漢文の原文は、きちんと現代語訳と照らし合わせて読む意識をさせましょう。

○200字作文について

① 2 段落構成で書く

1段落目は主張。2段落目は経験+筆者の意見 +

○都立入試国語の大前提

①下線部読みで解く

→都立入試の国語は時間との勝負です。また、下線部の近くに答えが書いてあることが都立入試の場合は多々あります。全部読んでから問題を解くのではなく、下線部にあったら問題を見て解けそうなら解く。解けなさそうなら後で解く。という方式が一番時間を使わず効果的に都立入試の問題を解くことができます。

②消去法で解く

→選択肢を消去法で解くやり方を教えましょう。他の選択肢が何が違うかも考えさせていくこともオススメです。

③時間をとにかく意識させましょう！

→問題解いている時に何分で時間を解いているのか。常に時計を見る意識をさせて問題を解くように意識させていきましょう。

④時間との勝負なので、大事なところには問題文に印をつけておく

違う選択肢には✕をつけるなど、後から読み直したときに1からにならないように本文に線とか入れておくと読みやすくなります。

○理想の時間配分について

[1]漢字 1分

[2]漢字 1分

[3]小説文 11分

[4]論説文 20分

[5]古典的読解 15分

バツファ 2分

中学部に関する方針

○200字作文の書き方

①②③の合計点から、減点項目に当てはまるものを減点していく方法。



表記				内容	形式				
言葉の使い方が不適切 (例) 文頭に「なので」を使用する 「くたりくたり」になっていない 「私の好きな言葉は『一期一会』という言葉が好きです」	最後の一文が途中で終了	文末表現（ですます、だである）の不揃い	誤字、脱字、衍字	(例) 作文の最初と最後で自分の意見が変わっている 具体的な体験や見聞が自分の意見と関係ないものになっているなど	本文の抜き出しや要約になっている	文頭に 。 、 「」を使用している	段落の文頭がマス空いていない	一〇一字〜一四〇字	一〇〇字以下、二〇一字以上
一つ：1点 二つ以上：2点	1点	1点	一つ：1点 二つ以上：2点	2点	10点	1点	1点	2点	10点

採点項目

- ①自分の意見が書かれている（4点）
- ②自分の具体的な体験、見聞（3点）
- ③筆者の主張を踏まえている（3点）

作文の書き方（フォーマット）

一段落目 2〜3行	二段落目 7行程度
・自分の意見 ・筆者の主張 (例) ①私は（作文のテーマ）について、筆者の〇〇という主張に賛成・反対である。 なぜなら〇〇だからである。 ②私は（作文のテーマ）について、筆者が〇〇と主張をするように、〇〇すべきだと考える。 ★感想（素晴らしいと思った。興味をもった。感動した。など）にならないように注意する。「賛成・反対」「すべき」など自分がテーマに対してどのように考えているのか書く。	・体験や見聞 ・改めて自分の意見 ・今後に向けて（行数が余っていれば） (例) 体験 以前、〇〇したときに〇〇と思った。 見聞 以前、（授業で、先生から、母から、友人から、ニュースで、新聞で、本で）〇〇ということを聞いたことがある。その際に〇〇と思った。 したがって〇〇すべき（一段落で述べた主張）だと考える。今後〇〇していきたい。 ★体験、見聞が自分の主張とズレないよう注意する。 ↓命を大切にすべきだと思う。以前

[2]数学

①短くて問題演習が解ける授業をとにかく意識する！

→数学の授業は『問題演習』の時間が一番成長します。短くてわかりやすい授業ができるかどうか

ポイントです。少し適當ぐらいの授業の方がちょうど良いです。問題演習を見てそれが解けて一番最速で教えるためにはどのように教えていけば良いだろうか。ここを常に考えて行動していきましょう。

②その子の目標点数に応じて問題を選ぶ

→例えば60点を目標している子は難しい問題。理解しづらい問題はあまり注力しないで計算問題を中心に解くなど戦略を練ることができます。お子様本人がそういった戦略を練ることはできないのできちんと講師の先生がその戦略を描き、どの問題をやらせるべきかという取捨選択をする必要があります。カリキュラム通り進めなくても良い子もいるのでその子に応じて指導をしていきましょう。

③大事なことは何度も確認をする

→人は一回の授業だと前回の授業は忘れます。その先の学習にもつながる大事なところは何度も復習をして伝え切ることを意識していきましょう。

<定期試験対策 逆算カリキュラム>

① Iワーク

→Iワークを50分授業では目標3ページ。最低2ページ進めていきましょう。宿題は原則、標準問題を出していきましょう。単元が終わったらIワーク+も宿題に出していきましょう。

② Iワーク+ (Iワークと同時に進められたらベスト)

→Iワークが終わったらIワーク+へ行きましょう。Iワーク+で90点取れるように指導をしていきましょう。Iワーク+ 90点が取ればおそらくテストは良い点数が取れます！

③模擬テスト (テスト2週間前には入りましょう)

→片面ずつ確実に解けるようにしていきましょう。模擬テストは問題演習のツールとして使っていきましょう。きちんと基礎を身につけてもらうことを目的に行いましょう。

④学校のワーク問題 & 語句チェック

→模擬テストには載っていないけど学校のワーク載っている問題はテストに出やすいのできちんとそこを潰していけるようにしていきましょう。また、語句の問題で点数を落とさないように確認しよう。

⑤本番同様そっくりテスト (テスト1週間前やドカン講座時にやると良い)

→計算ミス等を減らすためにも最後は本番同様そっくりテストを行いましょう。おすすめは授業前に来てもらい、50分テストをしてから授業をするなど工夫すると非常に良いと思います。

[2]数学

< 都立受験対策 >

○都立入試

[1]小問集合 46点

[2]規則性に関する問題 12点

[3]関数 15点

[4]平面図形 17点

[5]空間図形 10点

○都立入試のポイント

(STEP1) 61点問題を確実に解けるようにする (大問1・ 2(1)・ 3(1)(2))

(STEP2) 関数を強くする

(STEP3) 平面図形を強くする

(STEP4) 規則性問題を強くする

(STEP5) 空間図形を強くする

○教材

- ・ 【通年対策】 フォレスタゴール / ファイナルステージ
- ・ 【都立対策】 大問1・ 2・ 3 / 都トレ / 必勝都立数学 / オリジナル教材 / V模擬過去問題
- ・ 【私立対策】 新中学問題集 発展編 / 佐藤の数学 有名高校編 /
実力判定テスト 10 (改訂版) 偏差値 60 数学 高校入試実戦シリーズ
実力判定テスト 10 (改訂版) 偏差値 65 数学 高校入試実戦シリーズ

○ポイント

①61点問題を確実に取れるようにする (目標15分)

→61点問題を確実に点を取れるように鍛えていく。一つずつ单元ごとに完璧にしていくことがオススメです。計算問題・ 資料の活用・ [1]の関数問題・ 角度の問題・ 作図・ [3]の関数などを单元ごとにフォレスタゴールと大問1・ 2・ 3の問題を完璧にしていくことがオススメです。

②单元ごとのポイントを抑える！

[作図] 垂直二等分線・ 角の二等分線・ 垂線2つ・ 円の接線・ 3つの点を通る円・ 45° ・ 30° の作図

[データ] 最頻値・ 階級値・ 中央値・ 平均値・ 箱ヒゲ図

[角度] 錯覚・ 円周角の定理・ 同位角

[関数] 変化の割合・ 変域・ 直線の式を求める問題 ...etc

③空欄を無くさせる

→最終的に長さ測ってでも生徒に答えさせる。意外と都立入試は長さ通りの答えになっていることも多々あるので最後まで諦めず答えをうめさせるようにする。

[3]英語

① こだま法を使った授業展開をする

→形・訳・例文の意味・自分で置き換えたら。をセットにした授業展開をすると良い授業ができることが多いです。こだま法を使って子ども達の理解を高めていきましょう。

② 1分学習法で英単語は覚えさせよう！

→単語の授業をする際は1分でできる限りの限界を覚えさせてテンポ良くやらせていくことがオススメです。繰り返しやらせて英単語は覚えてもらえるようにサポートしていきましょう。

③ 大事なことは何度も確認をする

→人は一回の授業だと前回の授業は忘れます。その先の学習にもつながる大事なところは何度も復習をして伝え切ることを意識していきましょう。

< 定期試験対策 > ○逆算カリキュラム

① 必修テキスト・教科書マスター

→必修テキストを50分授業では最低2ページ進めていきましょう。宿題は原則、教科書マスターを出していきましょう。レベルが高い子は新ワークやキーワーク を宿題に出すのがオススメです。単元が終わったら単語まとめ・文法まとめ・得点Up問題へと進んでいきましょう。

② Iワークドリル

→必修テキストで文法を予習しているのでIワークドリルは教科書の英単語を習得してもらうために行っていきましょう。必修テキストと同じ単元の英単語と次の英単語を宿題に出すようにしましょう。特に重要文法もまとめと語句のまとめと得点UP問題は非常に大事な問題となります。

授業		宿題	
小テスト(Iワークドリル)	必修テキスト	必テキ・教マス	Iワークドリル
	<u>必修テキスト Unit1-1</u>	<u>必テキ or 教マス Unit1-1</u>	<u>Unit1-1 – Unit1-2</u>
<u>Unit1-1 – Unit1-2</u>	<u>必修テキスト Unit1-2</u>	<u>必テキ or 教マス Unit1-2</u>	<u>Unit1-2 – Unit1-3</u>
<u>Unit1-2 – Unit1-3</u>	<u>必修テキスト Unit1-3</u>	<u>必テキ or 教マス Unit1-3</u>	<u>Unit1-3 – Unit1-4</u>
<u>Unit1-3 – Unit1-4</u>	<u>必修テキスト Unit1-4</u>	<u>必テキ or 教マス Unit1-4</u>	<u>Unit1 全て</u>
<u>Unit1 全て</u>	<u>必修テキ重要文法まとめ</u>	<u>必テキ or 教マス文法まとめ</u>	<u>必テキ単語まとめ</u>
<u>必テキ単語まとめ</u>	<u>必テキ得点 Up 問題</u>	<u>必テキ得点 Up 問題+</u>	<u>教マス テスト対策仕上げ問題 1・2</u>

※中3のみこれに加えてフォレスト英単語を2級ずつ宿題に出す。

③ 模擬テスト (テスト2週間前には入りましょう)

→片面ずつ確実に解けるようにしていきましょう。模擬テストは問題演習のツールとして使っていきましょう。きちんと基礎を身につけてもらうことを目的に行いましょう。

④ 学校のワーク問題

→模擬テストには載っていないけど学校のワーク載っている問題はテストに出やすいのできちんとそこを潰していけるようにしていきましょう。

⑤学校別対策模擬テスト（テスト1週間前やドカン講座時にやると良い）

→傾向が似ている問題を作り、学校別に模擬テストを作るようにしていきましょう。

この問題を最終的には確実に取れるようにしていき、テストへ挑ませよう。

< 都立入試対策 >

○時間配分

[1] リスニング 9分

[2] 図表を使った問題・メール 12分

[3] 対話文読解 12分

[4] 長文読解 15分

バッファ 2分

○都立入試対策のポイント

（STEP1）フォレスタ英単語 英→日を暗記する

（STEP2）長文問題の解き方 or 読解B・C で基礎的な長文読解ができるようにする

（STEP3）必勝都立英語にて都立入試の解き方を少しずつ慣れさせていく

（STEP4）都トレで演習する / 弱点補強をしていく。特に3行作文。

（STEP5）V模擬の過去問題で時間を測ってやらせる。

○教材

・【通年対策】ファイナルステージ / フォレスタステップ / フォレスタ英単語

・【都立対策】長文問題の解き方 / 必勝都立英語 / 都トレ / V模擬過去問題

・【私立対策】新中学問題集 発展編 / 中学英語レベル別問題集 123 /

ターゲット英熟語 / 長文問題の完成

実力判定テスト 10（改訂版）偏差値 60 英語 高校入試実戦シリーズ

実力判定テスト 10（改訂版）偏差値 65 英語 高校入試実戦シリーズ

○ポイント

①フォレスタ英単語の単語テストがとにかく大事！

→長文読解をする上で語彙力がないと本当に歯が立ちません。きちんと語彙力をフォレスタ英単語を使って身につけていきましょう。この訓練が日々大事になっていきます。

フォレスタ英単語は以下のステップでやりましょう！

< 単語そこそこ覚えている子（番号で管理する） >

[1] わからない単語を全てチェックさせるようにする

[2] その単語を40個覚えさせる宿題を出す

[3] チェックテストを実施してみる

< 単語苦手な子（番号で管理する） >

[1] 2級ずつ宿題に出していく。

[2] 口頭で言わせるテストをする

[3] チェックテストを実施してみる

②長文問題の解き方→必勝シリーズ→都トレの順番でやらせる！

→難易度順になっているのでこの順番で子ども達の指導をしていければ段階を追った指導ができます。人によってどこからスタートさせるかを明確にしていきましょう。

③最低でも大問3を解ける訓練をさせる！

→大問4よりは、大問3の方が簡単です。英語が苦手でどうしようもない時は大問3に絞って対策をしていきましょう。

[4]理科

< 授業で意識すること >

① こだま法を使った授業展開をする

→オリジナル教材かウィニングノートをこだま法を使って暗記してもらいウィニングが解けるように授業をしていきましょう。先に暗記をしてもらってから解くと非常に良い授業ができます。

② 学校の進度を確認してウィニングの順番を確認しよう！

→ウィニングは教科書準拠ではありません。学校進度をきちんと確認して学校の進度通り進めているか常に確認をして授業をしていきましょう。

③ 学校のワーク・プリントが非常に大事！

→理科は学校のワークから最終的に出題されたりプリントから出題されることが多くあります。きちんと学校プリントがあるか。ヒアリングをして授業をすることが大切です。

< 定期試験対策 >

○逆算カリキュラム

① ウィニングノート or オリジナル教材で暗記

→今日ウィニングでやらせる場所を確認してそこまでウィニングノートかオリジナル教材を使って子ども達に暗記させましょう。きちんと暗記ができればウィニングが解ける状態になります。各授業ごとに大事な部分は小テストをして暗記できているかどうかを再度チェックするようにしていきましょう。

② ウィニング・新ワーク

→問題演習をしていきます。ウィニング・新ワークの問題が解ける状態を作りましょう。

③ 学校のワーク・プリント

→学校のワーク・プリントの問題を演習していきましょう。きちんとワークの問題が全問解ける状態を作ることが非常に大事になります。

④ 模擬テスト・過去問題

→片面ずつ確実に解けるようにしていきましょう。模擬テストは問題演習のツールとして使っていきましょう。また、理科の先生は3学年同じ先生のことが多いです。過去問題は非常に有力な材料になるケースが多いので過去問題を解かせていくことも非常にオススメとなります。

中学部に関する方針

< 都立入試対策 >

○時間配分

- [1] 小問集合
- [2] 日常生活に関する問題
- [3] 地学
- [4] 生物
- [5] 化学
- [6] 物理

○都立入試対策のポイント

- (STEP1) オリジナル教材をとにかく暗記する！
- (STEP2) ウィニングフィニッシュ・ 解き方が身につく問題集で問題演習をする
- (STEP3) 弱点単元をとにかく演習する
- (STEP4) 都トレ / 必勝シリーズ理科 / V模擬の過去問題を演習する
- (STEP5) 都立入試の過去問題10年分覚えるまで解く

○教材

- ・ 【通年対策】 オリジナル教材 / ウィニングノート / ウィニング / 新ワーク
- ・ 【受験対策】 オリジナル教材 / ウィニングフィニッシュ / 都トレ
高校入試「解き方」が身につく問題集 理科

○ポイント

①オリジナル教材をとにかく暗記！

→理科の基礎は全てオリジナル教材に載っています。このオリジナル教材をきちんと暗記して入試の基礎身につけていきましょう。

②楽しく ✕ 分かりやすいを意識する！

→オリジナル教材はただ暗記しているだけだとあまり面白くありません。楽しくて印象に残るということも非常に大事です。この楽しく分かり易いを両立できる授業を追求していきましょう。

③指導者側が相手の苦手を見つけることが大事！

→相手が苦手な単元は何か。その単元はどこが苦手なのかをきちんと把握した上で適切な提案をすることも非常に大事になっていきます。

[5]社会

< 社会で意識すること >

① こだま法を使った授業展開をする

→ウィニングノートか学校のワークをこだま法を使って暗記してもらいウィニングが解けるように授業をしていきましょう。先に暗記をしてもらってから解くと非常に良い授業ができます。

② 学校の進度を確認してウィニングの順番を確認しよう！

→ウィニングは教科書準拠ではありません。学校進度をきちんと確認して学校の進度通り進めているか常に確認をして授業をしていきましょう。

③ 学校のワーク・プリントが非常に大事！

→社会は学校のワークから最終的に出題されたりプリントから出題されることが多くあります。きちんと学校プリントがあるか。ヒアリングをして授業をすることが大事です。

< 定期試験対策 >

① ウィニングノート

→今日ウィニングでやらせる場所を確認してそこまでウィニングノートかオリジナル教材を使って子ども達に暗記させましょう。きちんと暗記ができればウィニングが解ける状態になります。各授業ごとに大事な部分は小テストをして暗記できているかどうかを再度チェックするようにしていきましょう。

② ウィニング・新ワーク

→問題演習をしていきます。ウィニング・新ワークの問題が解ける状態を作りましょう。

③ 学校のワーク・プリント

→学校のワーク・プリントの問題を演習していきましょう。きちんとワークの問題が全問解ける状態を作ることが非常に大事になります。

④ 模擬テスト・過去問題

→片面ずつ確実に解けるようにしていきましょう。模擬テストは問題演習のツールとして使っていきましょう。また、社会の先生は3学年同じ先生のことが多いです。過去問題は非常に有力な材料になるケースが多いので過去問題を解かせていくことも非常にオススメとなります。

○都立入試対策のポイント

< 地理 >

- (STEP1) オリジナル教材をとにかく暗記 (○○県といたら○○といった形の暗記法)
- (STEP2) 都道府県・世界の国名40・雨温図の暗記・代表的な地形・川・山等の暗記
- (STEP3) 都トレ / 必勝シリーズ / V模擬で演習をする
- (STEP4) オリジナル補強教材の暗記 / 合格ノートの暗記

< 歴史 >

- (STEP1) オリジナル教材をとにかく暗記 (時代ごとに覚えさせる発問が大事)
- (STEP2) 時代順の暗記 / 重要年号の暗記
- (STEP3) 都トレ / 必勝シリーズ / V模擬で演習をする
- (STEP4) オリジナル補強教材の暗記 / 合格ノートの暗記

< 公民 >

- (STEP1) オリジナル教材をとにかく暗記
- (STEP2) 都トレ / 必勝シリーズ / V模擬で演習をする
- (STEP3) オリジナル補強教材の暗記 / 合格ノートの暗記

○教材

- ・ 【通年対策】 オリジナル教材 / ウィニングノート / ウィニング / 新ワーク
- ・ 【受験対策】 オリジナル教材 / ウィニングフィニッシュ / 都トレ
- ・ 【補助教材】 合格ノート / スーパー年表

○ポイント

[1] 地理と歴史は○○といたら学習法で発問をさせよう

→『南アフリカ共和国といたら？』という発問をしてその国にまつわる知識をアウトプットしてもらう。これが地理の授業では一番重要です。歴史は時代順の並び替えの問題が多いので『室町時代の貿易とは？』などの各出来事が何時代に起こっているかをきちんと理解させることが非常に大事になっていきます。この暗記法をきちんと理解させて学習を進めていきましょう。

[2] 楽しく ✕ 分かりやすいを意識する！

→オリジナル教材はただ暗記しているだけだとあまり面白くありません。楽しくて印象に残るということも非常に大事です。この楽しく分かり易いを両立できる授業を追求していきましょう。

[3] オリジナル教材以外にこだわらせるプリントを明確にする

地理は国名と都道府県と基礎的な地形関連の知識。歴史は年号。こだわらせるプリントをとにかく一点集中で覚えてもらうことが良い結果に結び付きます。

1.一般受験指導（カリキュラム）

①指導方針

一般試験での志望校合格に向けてゴールから逆算して作成したカリキュラムを提供する。カリキュラムを実行するためのサポートをする。自学自習の習慣付けを行う。

②提供物

①受験コンパス

●年間計画表

受験カウンセリングで話した内容をもとに年間スケジュールを作成する。これを使用してどの月にどの問題集をやれば良いかを明確にする。現状と志望校の差を視覚化でき、月ごとの成長をレーダーチャートで見ることができる。実行済みのものは済にして、実際にどれだけ成長できているかもレーダーチャートで見ることができる。（スマホから生徒が済を入れるが、実際会った時にチェックすることが必要）

●参考書リスト

参考書一覧を出す。1年間でやるべきものが一覧として出てくるので、必要な教材について見やすく提示できる。

●参考書チェックリスト

参考書のチェックテストをして、計画をこなすだけになってしまうのを防ぐ。参考書のチェックテストは習慣の面談でいつ受けるに来るかを決める。9割を切ったら再テストでいつ再テストを受けるかは、テストで不合格になった時点で決める。

②面談

●受験カウンセリング

年間スケジュールを作成するために、志望校と学部、1日に可能な勉強時間を中心に聞く。これをもとに必要な試験科目を明示し、それぞれの科目についていつまでに何を終わらせるかを決める。「いつ」の基準は8月末までに先取りを含めた基礎固めがおわっていること。「何を」の基準は受験コンパスの参考書フローチャートをもとに作成する。

●月間面談

毎月の第一週に行う。基本的には週間面談と同じ時間にする。月間面談が終わったら、週間面談の内容に移る。Good & Newを通して、承認機会を作る。

→生徒の自己重要感を高める。志望校について現状を聞く。志望校での必要な科目について変更がないか、現状のカリキュラムのままでよいかを検討して、必要であればカリキュラムを変更する。1ヶ月の勉強の具体的な目標を年間スケジュールに基づいて決める。

講師ハンドブックは社外秘につき、各自厳重に保管し、退社時または期末に返納してください。

所属

氏名